

令和7年度 第二回TDPFコミュニティイベント

令和7年7月31日（木曜日）

本日の次第

1	開会挨拶・ 採択プロジェクトの選定概要	東京都デジタルサービス局 清水 紘司
2	採択プロジェクトの発表	株式会社コア 金城 広 氏
		国立大学法人電気通信大学 五十嵐 賢太郎 氏
		東京海上スマートモビリティ株式会社 児島 慎也 氏
		日本電気株式会社 高地 成彦 氏
		一般社団法人港区観光協会 高島 菜月 氏 港区 産業・地域振興支援部 小井土 洋樹 氏 株式会社リクルート 定時 大介 氏
3	東京都からのお知らせ	東京都デジタルサービス局 木川 幹雄 清水 紘司

1. 開会挨拶・採択プロジェクトの選定概要

TDPF 令和7年度ケーススタディ事業

本年度の中心事業の1つとして実施



交流機会の創出

ケーススタディ事業

伴走型サポート

会員間の共創によるデータ利活用のユースケースを創出

応募総数33件のプロジェクトに対し 主に以下の観点で評価

プロジェクトの主な評価ポイント

東京ならではの社会課題を解決

データ活用による新たな価値の創出

サービス創出の取組を広域に展開

会員間の共創・データの連携を促進

TDPF

ケーススタディ事業
採択

多様な主体が連携したプロジェクトを5件採択

令和7年度採択プロジェクト

フェースフリーの地域密着型情報配信プロジェクト

災害廃棄物から都市機能を守る産官学連携プロジェクト

AI×データが創る道路マネジメントモデル構築プロジェクト

データが支える「ゼロ次予防」に基づく健康促進プロジェクト

データ活用で引き出す、地域の経済活性化&共生推進プロジェクト

令和7年度ケーススタディ事業 スケジュール

	R7/ 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8/ 1月	2月	3月	
応募・選定		公募	★審査・選定									
			★採択発表: 7月25日(金)									
プロジェクト 実施				(8月~3月)								
成果報告											★成果発表	

3月開催予定のコミュニティイベントでの発表とともに、
TDPFへの掲載によりプロジェクトの成果を会員間で共有

2. 採択プロジェクトの発表

フェーズフリーの 地域密着型情報配信プロジェクト

株式会社コア
金城 広 氏

フェーズフリーの 地域密着型情報配信プロジェクト

実施主体



株式会社 コア



Lambda Systems



JX 通信社

M Data

TV番組・CMデータの調査・分析・配信

協力企業

J:COM株式会社、株式会社ジェイコム東京
(配信地域：世田谷区/狛江市/調布市)

プロジェクトの目的・背景

防犯・防災活動の支援、地域コミュニティの活カづくりにつける

目的

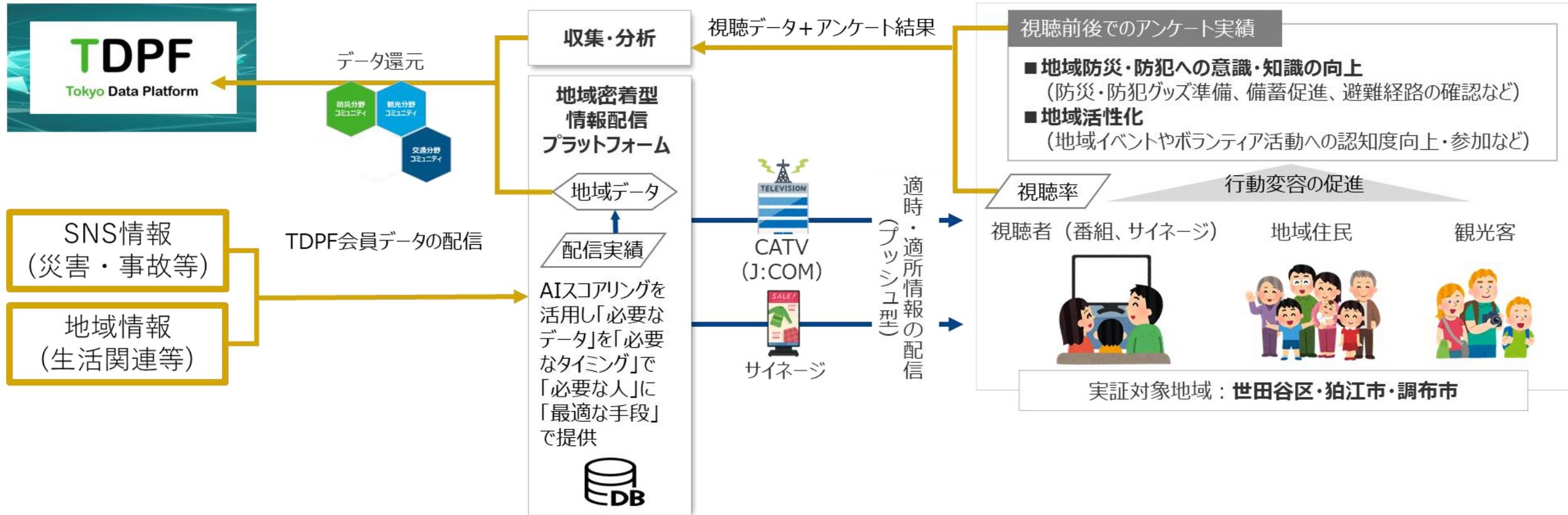
平時/有事の地域情報を正確・迅速に集約し様々な媒体で都民に配信することで、地域コミュニティの活性化と都民のQoL向上を実現

背景

- ・ ネット依存度の拡大とともにSNS上には偽/誤情報が氾濫
- ・ 50歳以上の中高年層は依然テレビからの情報の入手が根強い
- ・ 行政サービスは多様化による職員負担

	分野	行政サービス	民間サービス
平時/有事における地域情報の入手方法	災害	防災行政無線, SNS	・ テレビ、新聞 ・ インターネット ・ SNS
	事件・事故	ホームページ, メール, SNS	
	地域情報	紙面, ホームページ	

“フェーズフリーの地域密着型情報配信プロジェクト” 全体図



“フェーズフリーの地域密着型情報配信プロジェクト”の概要

- ① SNS情報の正確性を担保し、地域毎のきめ細かい災害、事件・事故、生活情報として活用
- ② データを情報配信プラットフォームに集約し、実際の放送やデジタルサイネージで情報配信
- ③ 視聴効果や各種施策の検証を通じ、本プロジェクトの成果をTDPFに横展開

各種地域データ

災害



事件・事故

生活情報



視聴地域毎に
情報をフィルタリング

情報配信
プラット
フォーム



配信データの蓄積

実際の放送等で配信
視聴効果等を検証

J:COM東京
(コミュニティチャンネル)

地域サイネージ

TDPFを通じて
横展開

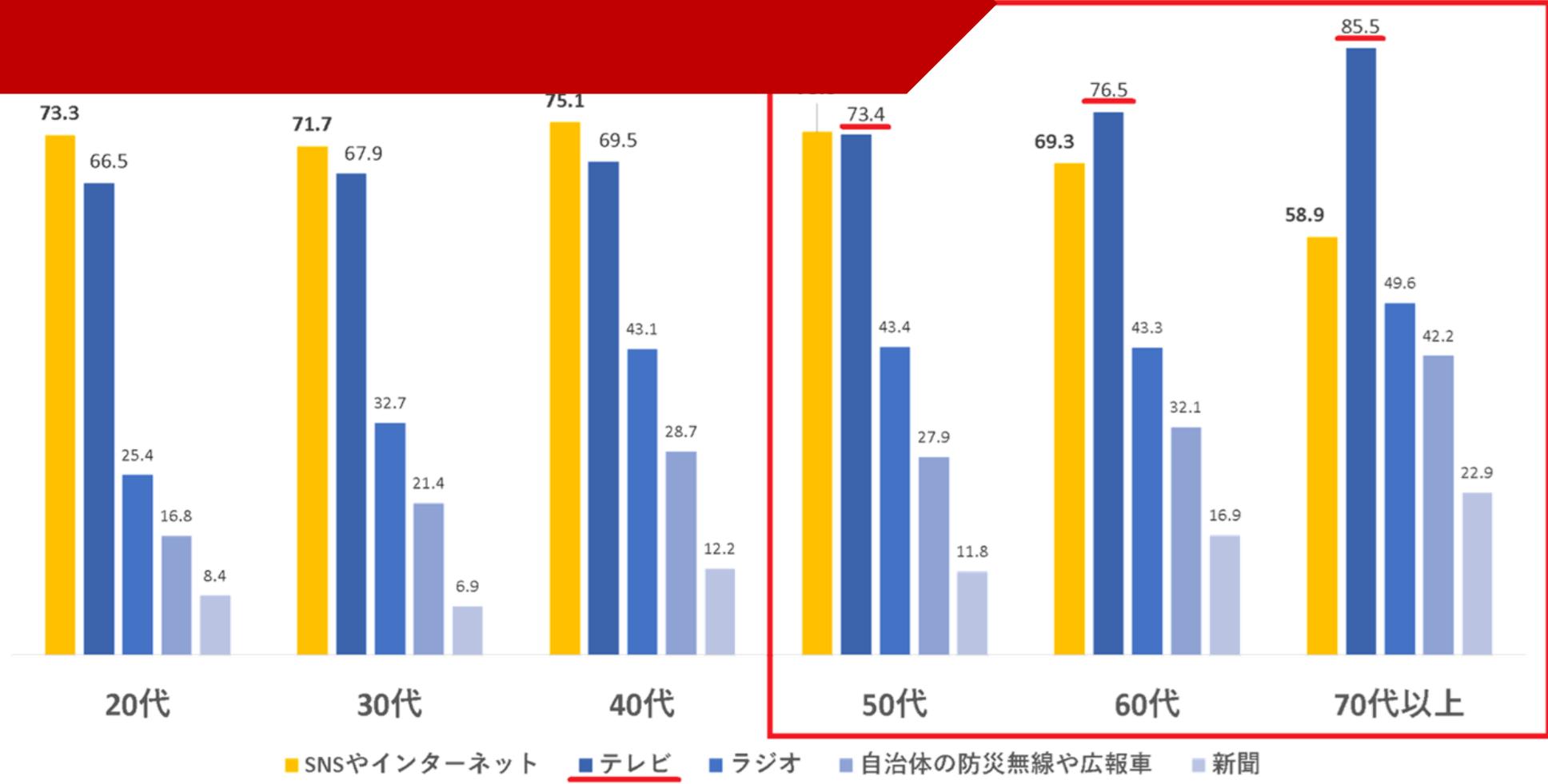
TDPF
Tokyo Data Platform

新規性

地域の災害情報や生活情報を正確性を担保したSNSデータやコミュニティチャンネルを使ってリアルタイムに無人で届ける！

データ：災害時に情報収集に使われている情報源

中高年層はテレビからの情報入手が根強い



社会課題解決に向けたゴールと施策

ゴール

インターネットを使わない高齢者や地域住民、また聴覚障害を持つ方など、様々な方に正確できめ細かい情報を配信することで防犯・防災意識の向上及び地域コミュニティ活性化を図る

東京都の社会課題

**防災リスクの増大、激しい通勤・通学混雑、
防犯・防災活動支援、地域コミュニティの活力低下**

(「基礎データから読み取れる東京の現状と主な意見 (東京都総務局)」)

実証地域 (世田谷区 狛江市・調布市)

**ゲリラ豪雨・都市型水害の頻発
多様化する犯罪等への不安**

**魅力ある住生活環境
豊富な地域資源**

施策

SNS分析データ × テレビメタデータ × 放送品質 で正確な地域情報を配信
地域毎の「災害」「事件・事故」「生活情報」の配信と視聴データの取得

住民・来訪者へのアンケート、自治体職員へのヒアリングでニーズを深掘り

適合性 [データ・集約・利活用・還元]

<JX通信社>
FASTALERT

SNS情報をAI/専門チームで
精査し偽・誤情報対策

<エム・データ>

テレビ放送メタデータ

約15年分の放送アーカイブ
テキストデータ

<J:COM>

自治体発表・依頼の
災害/行政情報

<コア・ラムダシステムズ>
分散するデータを集約し
地域に特化した情報を抽出

TDPFデータと
CATV網を活用した
地域密着型の
情報配信モデル

CATV網
デジタルサイネージに
配信・蓄積

平時

魅力的な
地域密着情報を配信し
フェースフリーを実現

有事

危機情報を
迅速かつ的確に伝達し
避難や減災行動を促進

視聴者との双方向性を確保し新たな地域情報として還元

本プロジェクトで使用するデータ一覧

分野	データソース	データ内容
災害	①気象庁発表情報	気象予報・予測、警報・注意報、地震・津波、噴火警報
	②L/Jアラート配信情報	避難指示、避難所、被害状況、ミサイル発射・落下
	③河川・道路	水位・氾濫、通行止め、冠水
	④ライフライン	停電、水道トラブル、ガス漏れ
事件 事故	⑤SNS情報	SNSに投稿される表中の全ての情報
	⑥警察・国交省発表情報	犯罪・詐欺、交通事故、失踪者
地域情報	⑦生活・飲食	子育て、補助金、名物、グルメ情報
	⑧観光	観光地・名所、お土産、アクセス情報
	⑨地域イベント	お祭り・花火大会、スポーツイベント

注) : 本プロジェクトで特長的なデータ

放送等での実際の配信イメージ

対象3地域の視聴世帯数：28.5万世帯*（実証対象市区の世帯数合計 66.1万世帯）

*2025年4月時点

発災情報
世田谷区 東京都

-  **火事** 5月10日午前11時15分三軒茶屋3丁目付近で建物火災発生
-  **水道トラブル** 5月10日午後3時20分現在、三軒茶屋交差点付近水道管破裂
-  **河川氾濫** 5月10日午前8時34分現在、目黒川付近で内水氾濫発生、警戒してください
-  **交通事故** 5月10日午後8時23分現在、世田谷警察交差点で自動車横転事故、通行止め
-  **電カトラブル** 5月10日午前5時現在、世田谷区一帯で停電中

※ SNS等の目撃情報をJX通信社 FASTALERTのAIが検知した情報を自動配信しています

地域デジタルサイネージへの配信イメージ

スポット観光情報



世田谷区
SETAGAYA CITY

豪徳寺 Gotokuji-Temple 호덕사

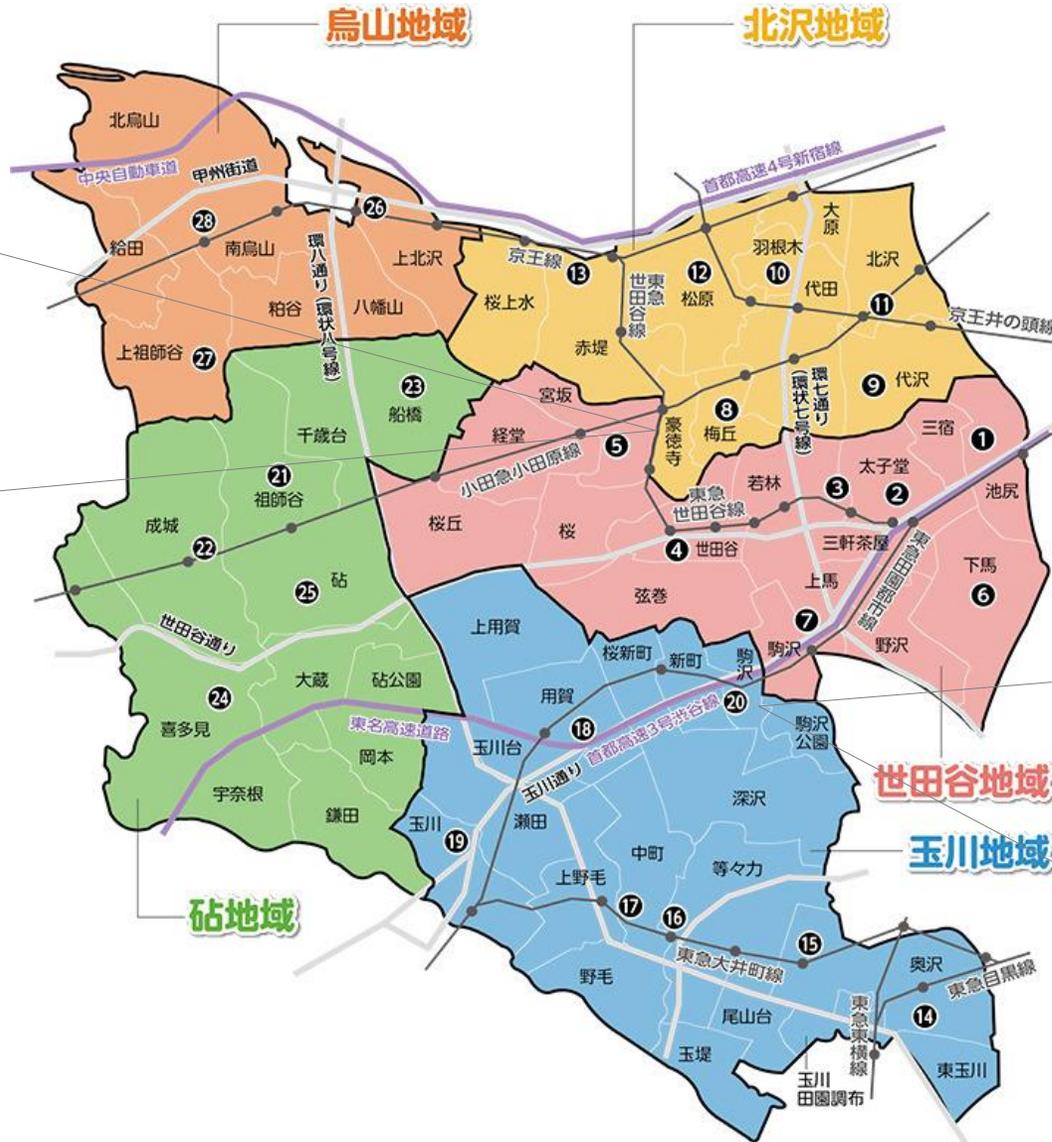
招き猫発祥の地として有名です
拝観時間：6:00～18:00

SG 07 東急世田谷線 宮の坂駅から徒歩5分
GH 10 小田急小田原線 豪徳寺駅から徒歩10分

周辺おすすめレストラン【AD】

田中うどん
豪徳寺駅から徒歩9分
営業時間：11:00-19:00
定休日：火曜

- 地域の観光名所案内
- 地域のイベント情報
- ローカル広告枠の設定



スポット交通情報



世田谷区内警察署からのお知らせ

春の交通安全運動 実施中

おもいやりを大切に
みんなで守ろう交通安全

周辺駐車場案内 14:00現在

- 空** 駒沢公園第一駐車場
- 満** 駒沢公園第二駐車場



交通情報

世田谷区上馬交差点 15:00頃乗用車と自転車の事故発

出典：世田谷区ホームページ

令和8年度以降の事業展開



R7年度の配信地域の世田谷区/狛江市/調布市様でのご利用促進

各自治体が低い負担でフェーズフリーに運用できる
防災/地域情報プラットフォームにブラッシュアップ

自治体
CATV事業者

地方創生2.0も活用し
都内/全国に展開

還元性 [TDPF会員様コミュニティの醸成]

地域密着型情報配信プラットフォーム × TDPF会員データの活用

の場を各地の自治体へ広げ、地域のQoL向上へ



ご清聴ありがとうございました

災害廃棄物から都市機能を守る 産官学連携プロジェクト

国立大学法人電気通信大学
五十嵐 賢太郎 氏

災害廃棄物から都市機能を守る 産官学連携プロジェクト

国立大学法人 電気通信大学
調布市、ボルゾイAI(株)



背景と課題



り災ごみの例
(R1東日本台風直後、調布市内)

- R1東日本台風では、路上に混合ごみが山積み…。
- 災害時に「どこに・何を・いつ出せばよいか」を市民に案内する手段が長年、未整備
- 問い合わせ集中→行政の混乱→誤排出の連鎖を断ち切りたい！

しかし現状は、、、

- 災害廃棄物処理計画に基づく仮置場は、平時は非公開であり、紙やExcelで管理。
- そのため仮置場への排出案内も混乱が見込まれる。

保有プラットフォーム「調布ごみナビ」



- 電通大・調布市・Borzoi AIが共同開発し、令和6年から市内で正式実装された総合ゴミ案内プラットフォーム。
- LINEを通じてごみの品目名や写真を送信すると、AIが画像認識とLLM（大規模言語モデル）によって排出方法を案内。
- 13言語対応や収集日カレンダー、位置情報に基づく場所検索・通報機能も有する。
- 令和6年度のTokyo区市町村DXawardで行政サービス部門・大賞を受賞。

実施内容

<ごみナビ>

- 発災時に「調布ごみナビ」上のリッチメニューを災害モードに切り替え、り災ごみの分別、災害用トイレの排出方法、自宅に近い仮置場・搬入可能時間帯・分別ルール等を案内。
- 予め災害廃棄物処理計画に基づく仮置場リスト（現状はExcelと紙）は位置情報付きのGISデータとして構造化しておく。



<収集車ナビ>

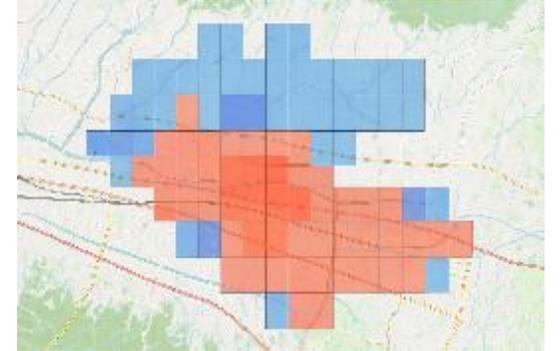
- 収集車にスマホを搭載し、平時からGISによる可視化を実施（例：容量計測・予測、ルート効率化ナビ、搬出入記録）
- 発災時は過去データに基づいてエリア毎の排出量を予測
- 仮置場への配車・順路管理を支援
- 紙や口頭での伝達を削減し、収集ルートの逸脱やミスを抑制



実施内容 つづき

<オープンデータ活用>

- 市の地区別年齢構成のオープンデータを活用
- 紙おむつ・簡易トイレなど腐敗性ゴミのエリア毎排出量を予測
- 優先収集・分別案内を強化し避難生活のQoL低下を防止



<実証実験>

- 市内モデルエリアにて発災初動72時間以内を想定した訓練を実施
(例：戸建住宅密集地、集合住宅地域)
- 情報伝達・排出行動・収集業務の一連のプロセスを検証



都民のQoL向上に向けて

- オープンデータを活用しながら災害時の腐敗性廃棄物の早期誘導～優先収集を促すことで、避難生活のQOL低下を未然に防ぐ。
- 「調布ごみナビ」の活用により、災害時にも平常時と同様の操作感で、位置に応じた排出案内を多言語対応（13カ国語）で市民に24h、迅速にごみ（通常ごみ・り災ごみ）の排出案内を提供できる。
- 収集業務においても、従来の煩雑な紙指示・口頭伝達による混乱が回避されつつ、災害時の道路事情を考慮した効率的な収集が実現できる。



- 都の計画が示す“**発災後の実行計画の上乗せ**”や“**人材とノウハウの蓄積**”を支援する観点から、**住民・行政・民間が双方向に連携し、全区市町村で横展開可能な情報基盤を構築する公共的アクション**を試行。

スケジュール

• R7年度「基盤実証フェーズ」

- 災害廃棄物処理計画に基づく仮置場リストをデータ化
- 災害モード版「調布ごみナビ」の開発、実証
- 収集事業者向けに、スマートフォン用「収集車ナビ」を実装
- 腐敗性ごみの排出量予測アルゴリズムを実装

来年度以降の事業構想・計画

• R8年度「常設運用フェーズ」

- 調布市での恒常的な運用体制への移行と検証・フィードバックを踏まえた機能改良
- 都内自治体への適用展開、実務への定着

• R9年度「広域展開・制度化フェーズ」

- 特別区 + 多摩地域を含めた全域への適応設計、展開支援
- 東京と災害廃棄物処理推進計画等の上位計画との制度接続DX/BCPモデルとしての都市横展開



実施体制

- **電気通信大学**

- AI・災害行動モデルの設計と評価
- 仮置場・地域統計データのGIS整備
- 効果検証（アンケート・ナビログ等の分析）

- **調布市 資源循環推進課・総合防災安全課**

- 仮置場情報や災害計画の提供・整備
- 実証フィールドの提供（訓練・周知など）
- UIや案内仕様に対する行政レビュー
- 市民向け広報・訓練時の対応

- **ボルゾイAI(株)**

- 災害モード機能・収集車ナビのアプリ開発
- ダッシュボード・管理ツールの開発
- AI予測モデル構築、UI/UX設計
- 実証ログ分析に基づく継続改善と他自治体向け展開支援



TDPFへの貢献例

① データ還元（非個人情報中心）

- 災害ごみ排出量予測モデル、GISデータフォーマット
- 収集ナビの稼働ログ

② 成果物の標準化・再現性

- 仮置場リストGIS構造化テンプレート
- 災害モード／収集ナビ画面仕様

③ 都内自治体との展開・共同開発

- 多摩・特別区へのモデル適用
- TDPF／GovTech等で知見発信予定



関心のある自治体・企業様はぜひお声がけください。

AI×データが創る 道路マネジメントモデル構築プロジェクト

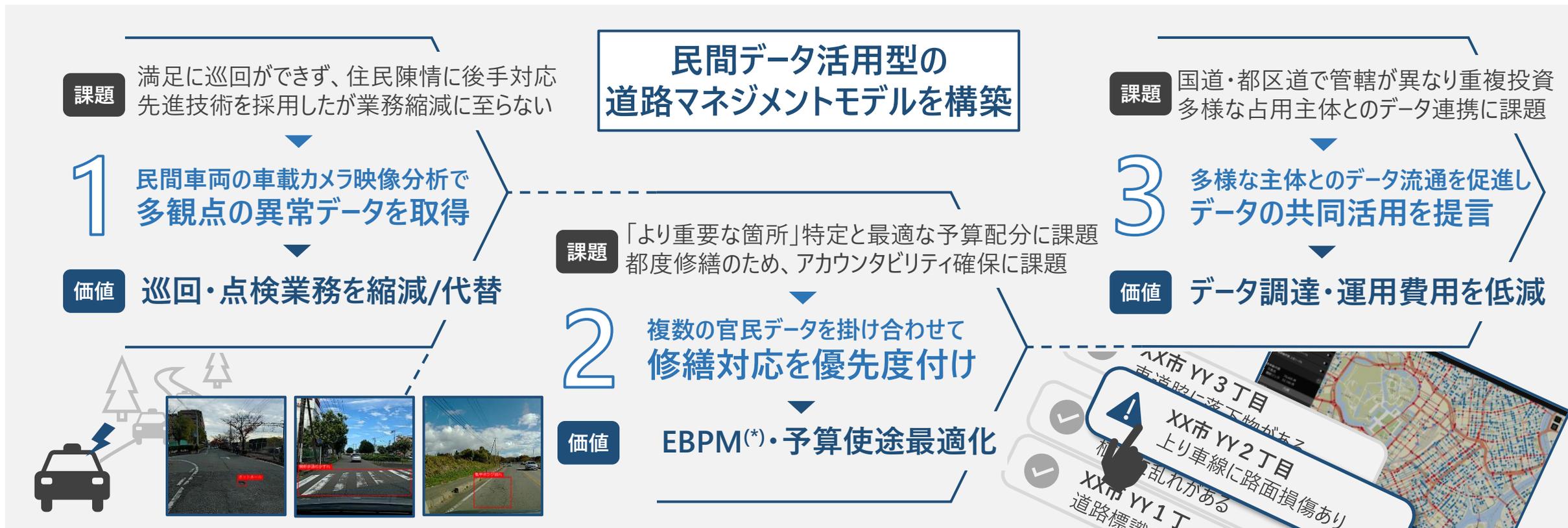
東京海上スマートモビリティ株式会社
児島 慎也 氏

AI×データが創る 道路マネジメントモデル構築プロジェクト

東京海上スマートモビリティ株式会社
2025年7月31日

AI×データが創る道路マネジメントモデル構築プロジェクト

道路インフラ老朽化、維持管理の人手・財源不足という社会課題に向き合い、財源の限られた自治体でも実装可能な道路マネジメントモデルを構築する

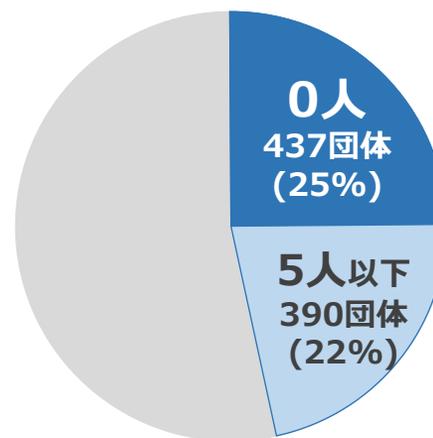
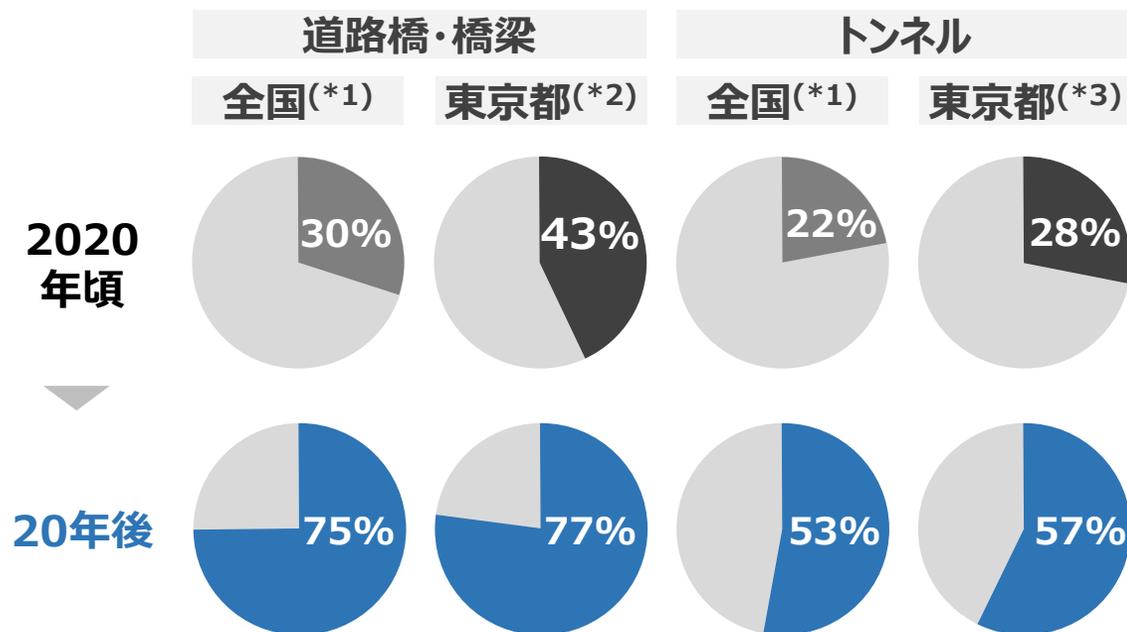


*)EBPM: Evidence Based Policy Making. 証拠に基づく政策立案

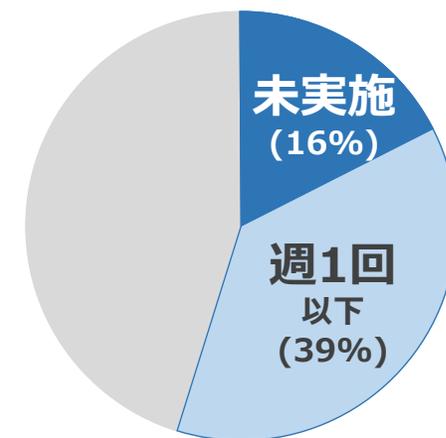
都のみならず日本全国で道路インフラの老朽化が急速に進む一方で、維持管理人員不足が社会問題化している

今後20年で「**供用年数50年以上の道路インフラの割合**」が急増。
東京都は全国よりも老朽化の進行が早い課題先進地域。

約25%の全国基礎自治体において**土木系技術職員が0人**。
約16%の全国基礎自治体で**日常巡回点検が実施できていない**。



全国基礎自治体における土木系技術職員数(*1)



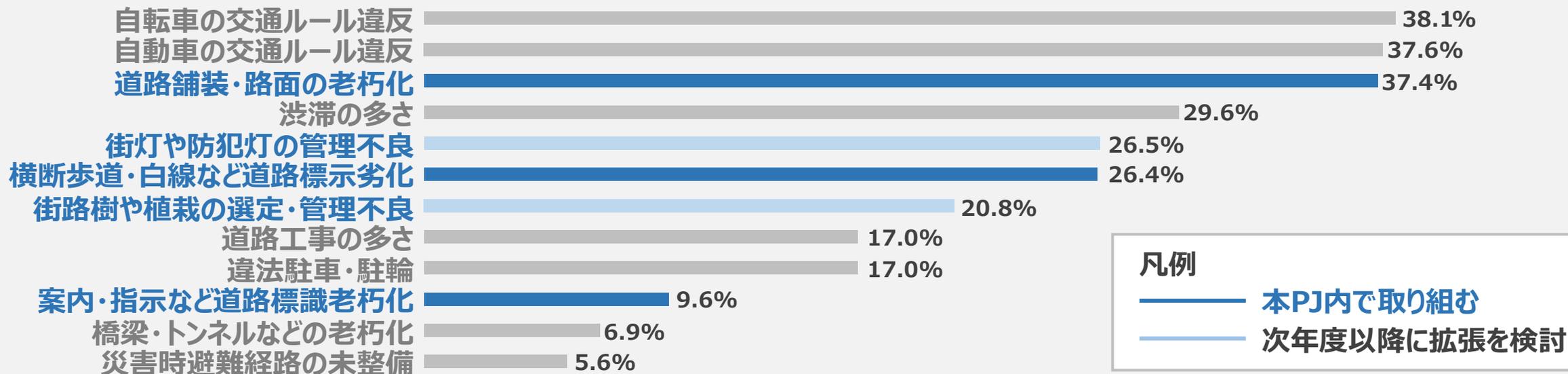
全国基礎自治体における道路巡回点検の頻度(*4)

都における先進的かつ持続可能な道路マネジメントモデルが日本全国の課題解決へ

*1)出典：「国土交通省におけるインフラメンテナンスの取組」国土交通省，令和5年。*2)出典：「橋梁予防保全計画」東京都建設局，令和3年。*3)出典：「東京都、インフラ延命も難題 道路施設「異変」年5万件」日本経済新聞，令和6年6月21日。（※データは2022年とその20年後）*4)出典：「全国市町村における道路維持管理の現状と課題に関する調査研究」土木学会，第61回土木計画学研究発表会・講演集，2020年。

生活者にとっては、普段見かける道路舗装や道路附属物等の劣化・老朽化が日常生活の質に直結している

Q:日常生活をするうえで、道路に関して困っていること、不安に感じていることをすべてお答えください



「都民のQoL実感」に密接に関わる、“日常的な道路維持管理”に焦点を当てる

出典：「道路標識など道路附属物の老朽化状況に関する全国住民アンケート」古河電気工業・東北大学，令和7年4月。
調査対象：全国20代～60代の男女（7,050名（各都道府県150名ずつ））

「展開性・実効性の高いモデル」の構築を目標として、 技術/価値の検証に取り組む



民間データ活用型の道路マネジメントモデルを構築する

実施項目

1 民間車両の車載カメラ映像分析で多観点の異常データを取得

2 複数の官民データを掛け合わせて修繕対応を優先度付け

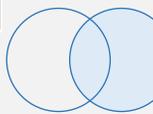
3 多様な主体とのデータ流通を促進しデータの共同活用を提言

実施要点

1 
区内を走行する民間事業者と協力

2 
保険付帯でも利用される車載カメラ

3 
画像認識AIで多観点の異常検知

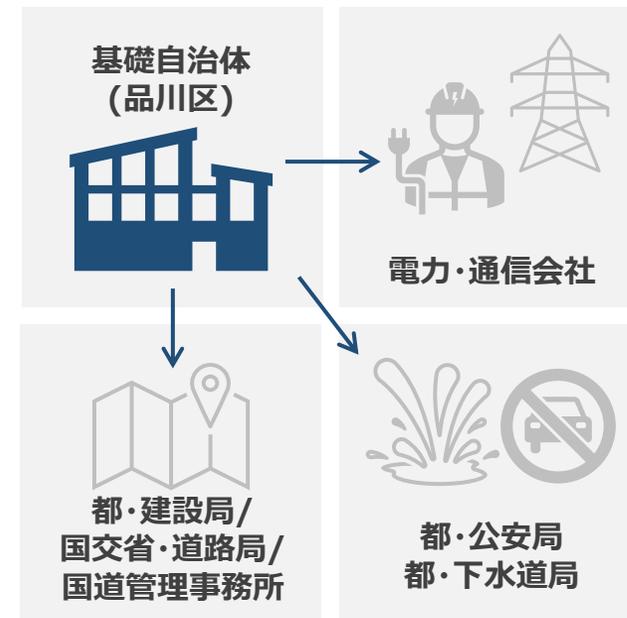
4 
目視点検と比較して異常検知データを評価

1 
人流・交通量・事故危険度データを活用

2 
修繕優先度付け方案を新規企画

3 
今回取得した検知データに適用

4 
優先度付け効果を定量化して評価



データの活用における独自性と新規性

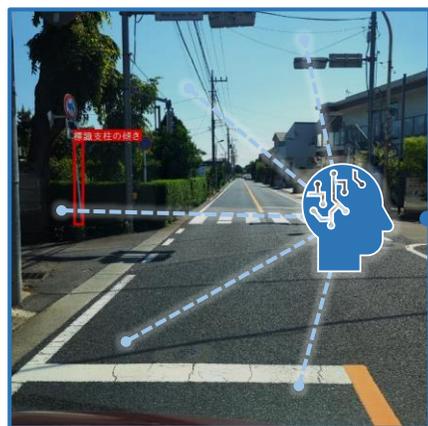
一つの映像を多観点で統合的にAI検知し、 官民データとの新たな掛け合わせで修繕対応の優先度付けを行う

独自性

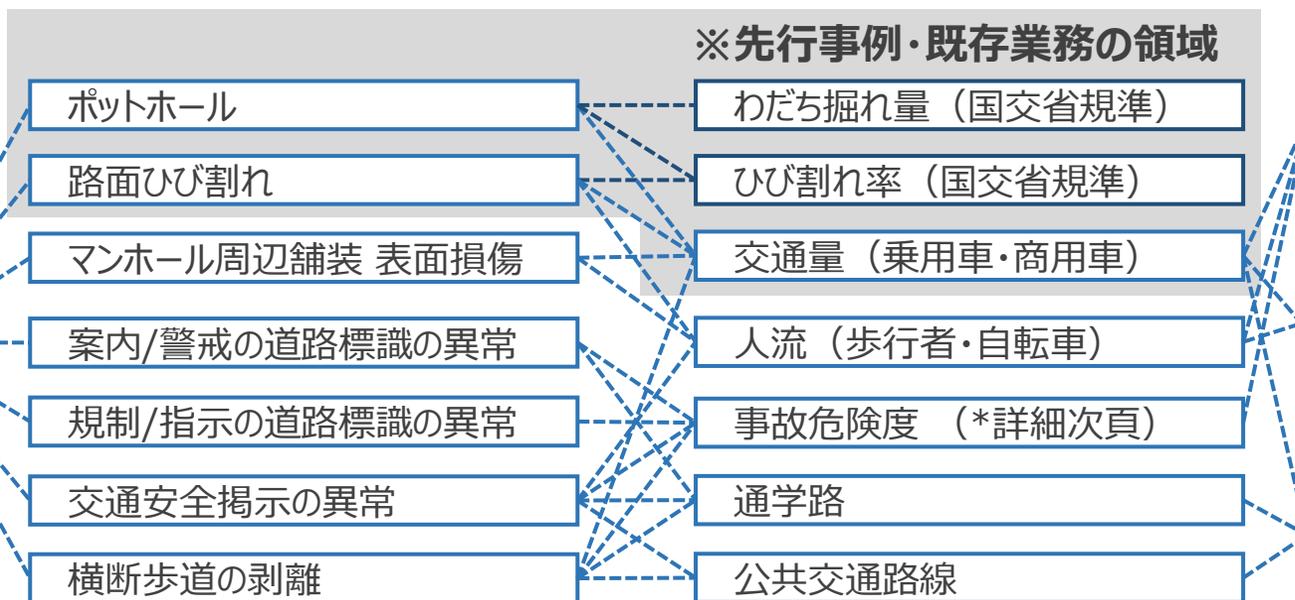
一つの映像を多観点で統合的にAI検知して
巡回業務代替の点から実用化検討を行う

新規性

官民データの「新たな掛け合わせ」により
複数要素に基づく対応優先度を評価する



汎用的な車載カメラ
映像データの活用



AI異常検知データ
(実施項目1)

優先度根拠データ
(実施項目2)



官民データの活用

これまで外部提供されてこなかったデータの活用

実施項目2において、損害保険会社が事故の背景要因まで含めて整備した潜在事故危険度データを活用する

  死傷事故 損傷部位
物損事故 ...

損害保険会社 **事故データ** (年間250万件)

  急ハンドル 急ブレーキ
急加速 ...

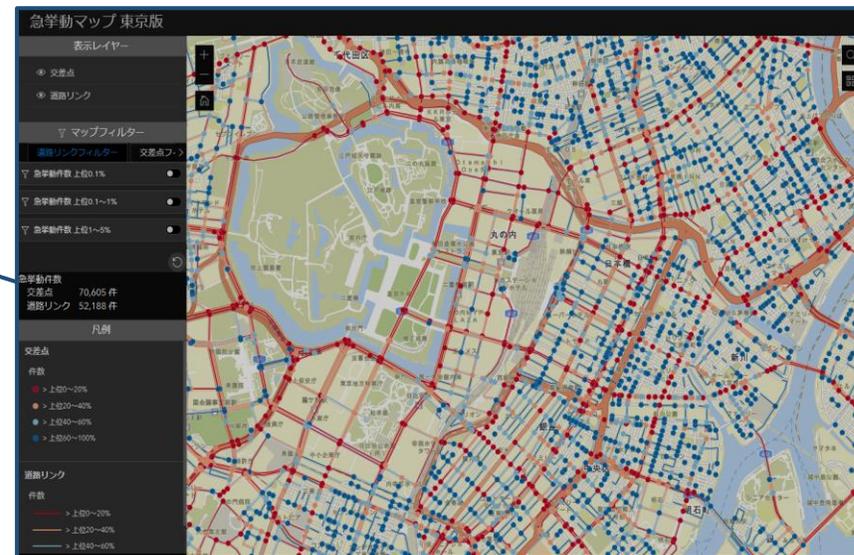
損害保険会社 **運転挙動データ** (150億キロ超)

天候 **道路** **人流** **交通流**


事故の背景要因
を機械学習(AI)

事故未発生地点も含めた
潜在危険度を評価



東京海上スマートモビリティ
”AI交通事故発生リスク分析データ”

車載カメラデータ取扱・道路維持管理実務・画像分析の各分野で実績豊富な企業により体制を構築する

	代表企業 東京海上スマートモビリティ株式会社	日本工営株式会社	株式会社アーバンエクス テクノロジーズ	株式会社ナイトレイ
概要	車載カメラデータ、交通関連データの取扱実績が豊富な東京海上ホールディングス株式会社100%子会社	日本国内外におけるインフラに係わる調査、設計、マネジメント等の豊富な経験を有し、『維持管理システム』を自治体に提供する建設コンサルタント	自治体向け技術・サービス提供の実績が豊富な、インフラDX分野の東大発画像分析スタートアップ企業	人流・交通量などロケーションデータの取扱い実績が豊富なスタートアップ企業
役割	<ul style="list-style-type: none">プロジェクト全体の取り纏め車載カメラ映像データ収集 (項目 1)“ AI交通事故発生リスク分析データ”の整備 (項目 2)他SHとの協議推進 (項目 3)	<ul style="list-style-type: none">異常検知結果データの評価 (項目 1)優先度付け方案企画・評価 (項目 2)	<ul style="list-style-type: none">車載カメラ映像データの分析 (項目 1)	<ul style="list-style-type: none">人流・交通流データの整備 (項目 2)

本プロジェクトで創出する道路維持管理データの価値をさらに高めるべく、
ご関心頂けるTDPF会員企業様、自治体様についてはお声がけください

協業検討



交通分野や防災分野に
興味・専門があるTDPF会員

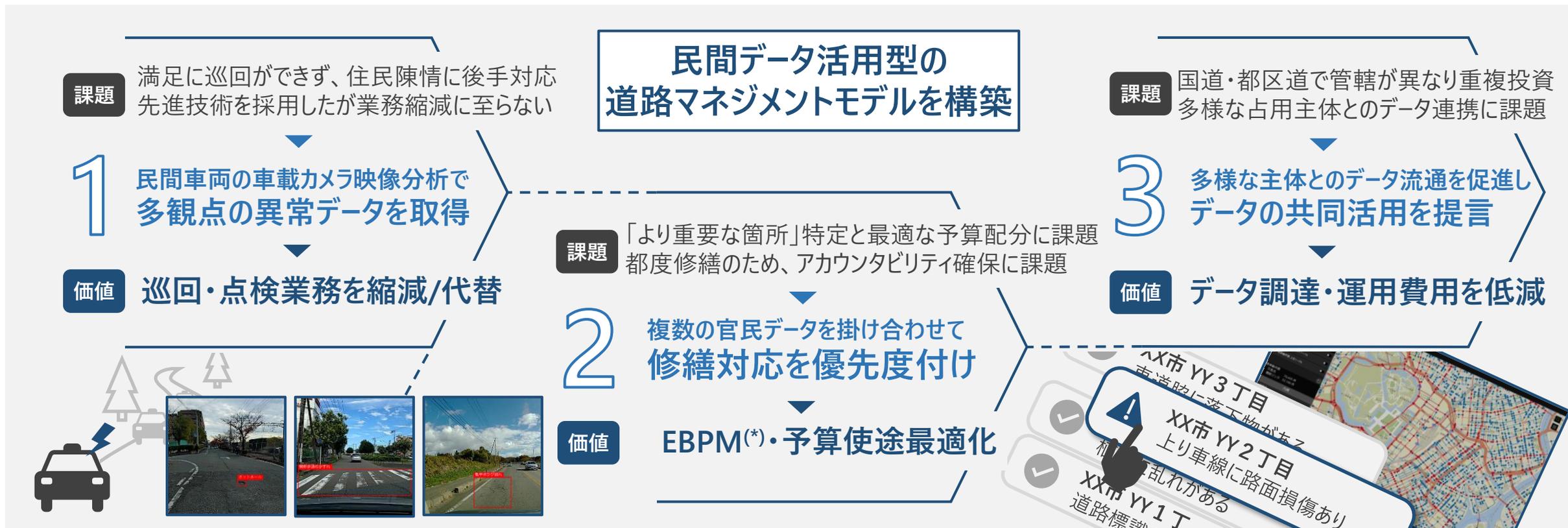
導入検討



ご関心頂ける自治体

AI×データが創る道路マネジメントモデル構築プロジェクト

道路インフラ老朽化、維持管理の人手・財源不足という社会課題に向き合い、財源の限られた自治体でも実装可能な道路マネジメントモデルを構築する



*)EBPM: Evidence Based Policy Making. 証拠に基づく政策立案



ご清聴頂き有難うございました

データが支える「ゼロ次予防」に基づく 健康促進プロジェクト

日本電気株式会社
高地 成彦 氏

データが支える「ゼロ次予防」に基づく 健康促進プロジェクト

2025年7月31日

日本電気株式会社

スマートシティ統括部

An elderly couple is jogging on a wooden boardwalk. The man is on the left, wearing a bright blue jacket and grey pants, with a white beard and hair. The woman is on the right, wearing a grey and blue jacket and black leggings with a blue stripe. Both are wearing earbuds and smiling at each other. The background shows a body of water and a clear sky.

**「ゼロ次予防」でまちを変える、未来をつくる
～高齢者の健康促進で健康で健やかな社会を目指す～**

公衆衛生における「ゼロ次予防」とは

最も根本的な環境場面からアプローチすることにより、疾患を予防していこうという考え方

社会課題

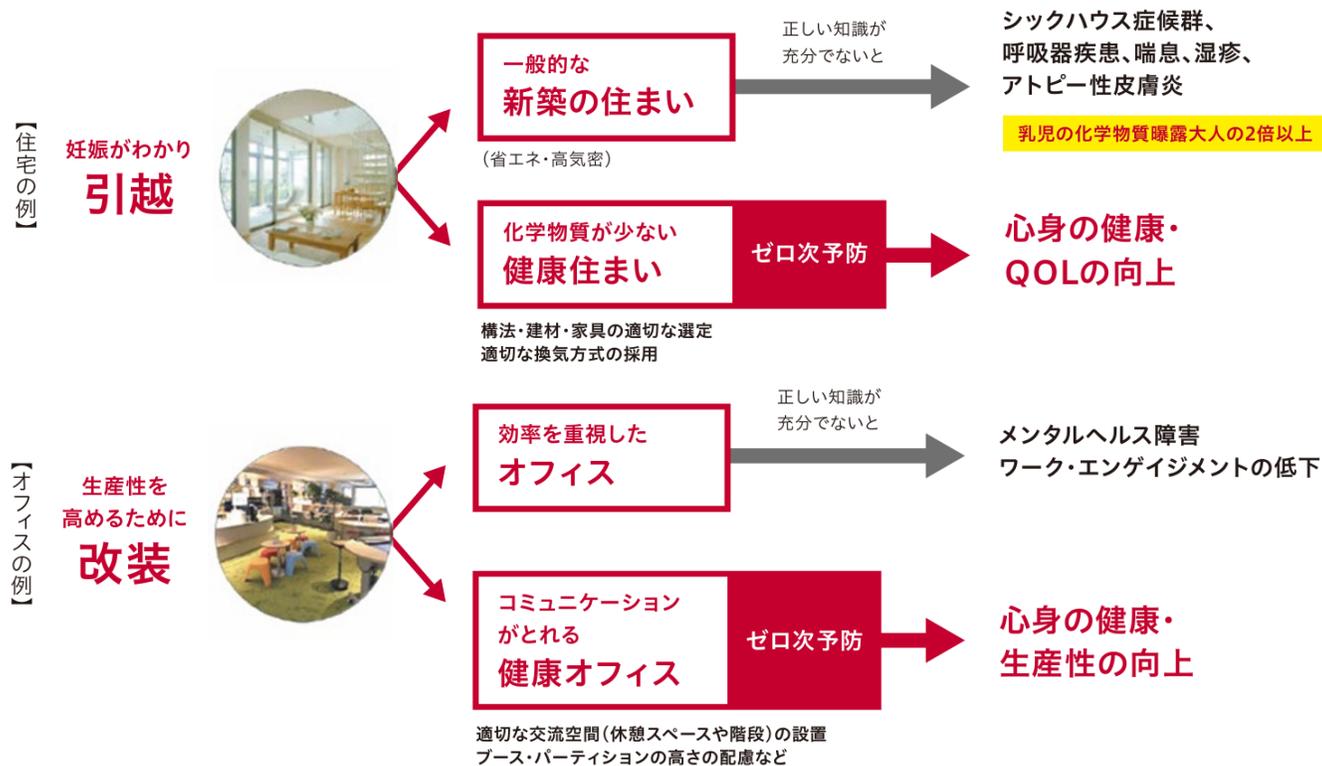
官民において多様な疾病予防・健康増進事業やサービスが提供されている。

生活者の7割は健康無関心または関心があっても行動できない。

多くの人にとって、予防的取組やその継続は難しい。

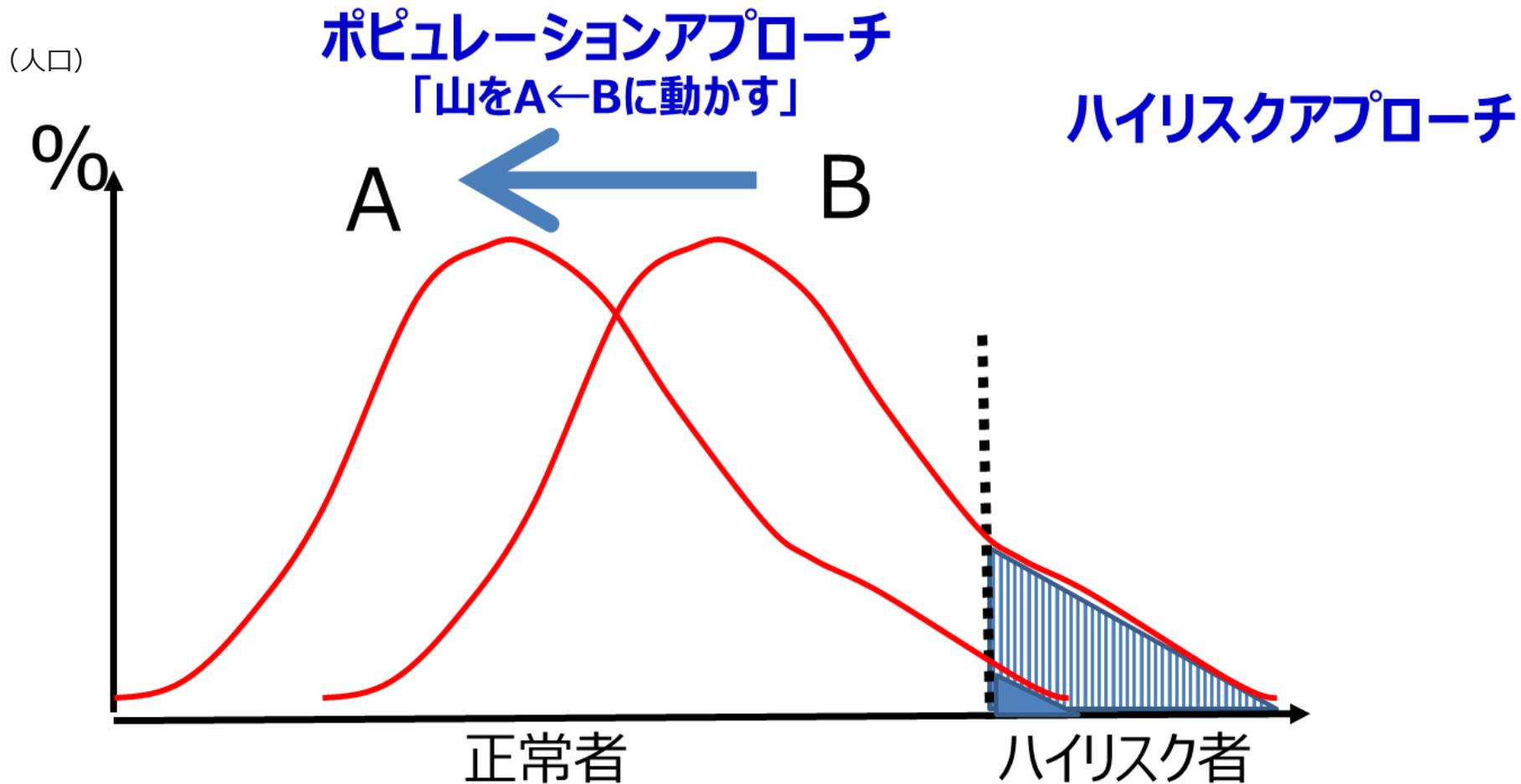
意識しなくても自然とWell-Activeでいられる
環境づくり(ゼロ次予防)が重要

ゼロ次予防のイメージ



ゼロ次予防（公衆衛生学）を推進する背景

健康無関心層、関心があっても行動できていない層が自然と健康行動を起こす環境づくりで、人口全体で正常者の割合を増やす



プロジェクト体制

板橋区の協力のもと、庁内データ、千葉大学のゼロ次予防ノウハウ、unerryの人流データで自治体と民間事業のデータ価値を導出

プロジェクト実施体制

プロジェクト実施者（代表企業）

日本電気株式会社



実証フィールド

板橋区

事業活用/民間インタビュー先想定

**豊島区、大田区、新宿区等、
介護関連事業者**

学術知見・ロジックモデル活用

国立大学法人 千葉大学

人流データ提供・分析支援

株式会社unerry

調査支援

メルセネール株式会社

プロジェクトの目指す姿

高齢者を社会が支えていくための介護保険制度や財源に限界。データを活用したゼロ次予防の健康促進でまちを活性化。高齢者の健康で健やかな社会を実現する

現状



高齢者 : フレイル割合増
財政 : 財政状況厳しい
地域 : つながり希薄

ゼロ次予防

まちを変える
未来をつくる

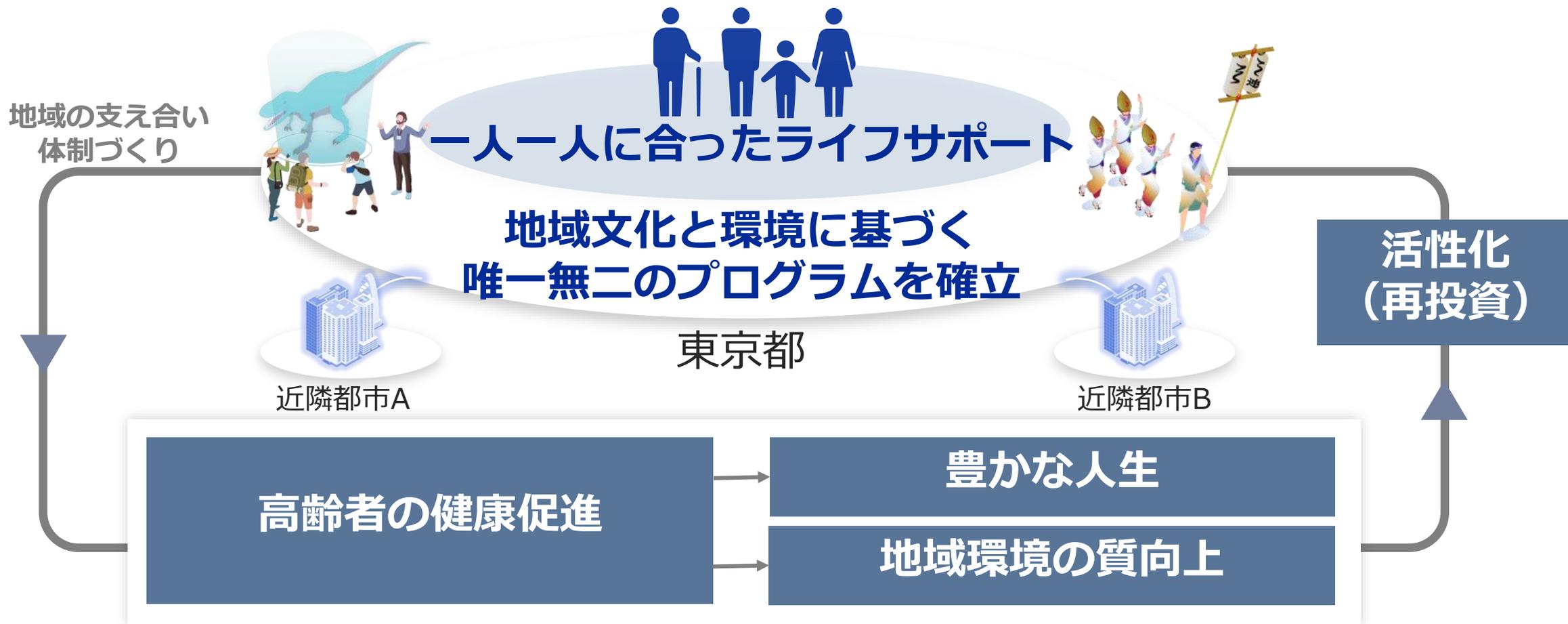
目指す姿



高齢者 : 元気
財政 : 健全化
地域 : 支えあい

プロジェクト検討背景：データが支える「ゼロ次予防」に基づく健康促進プロジェクト

高齢者本人や住民相互の力を引き出して、介護予防や日常生活支援を行うために、効率/効果的な施策を実施。民間資源を活用した、地域の支え合い体制づくりが重要



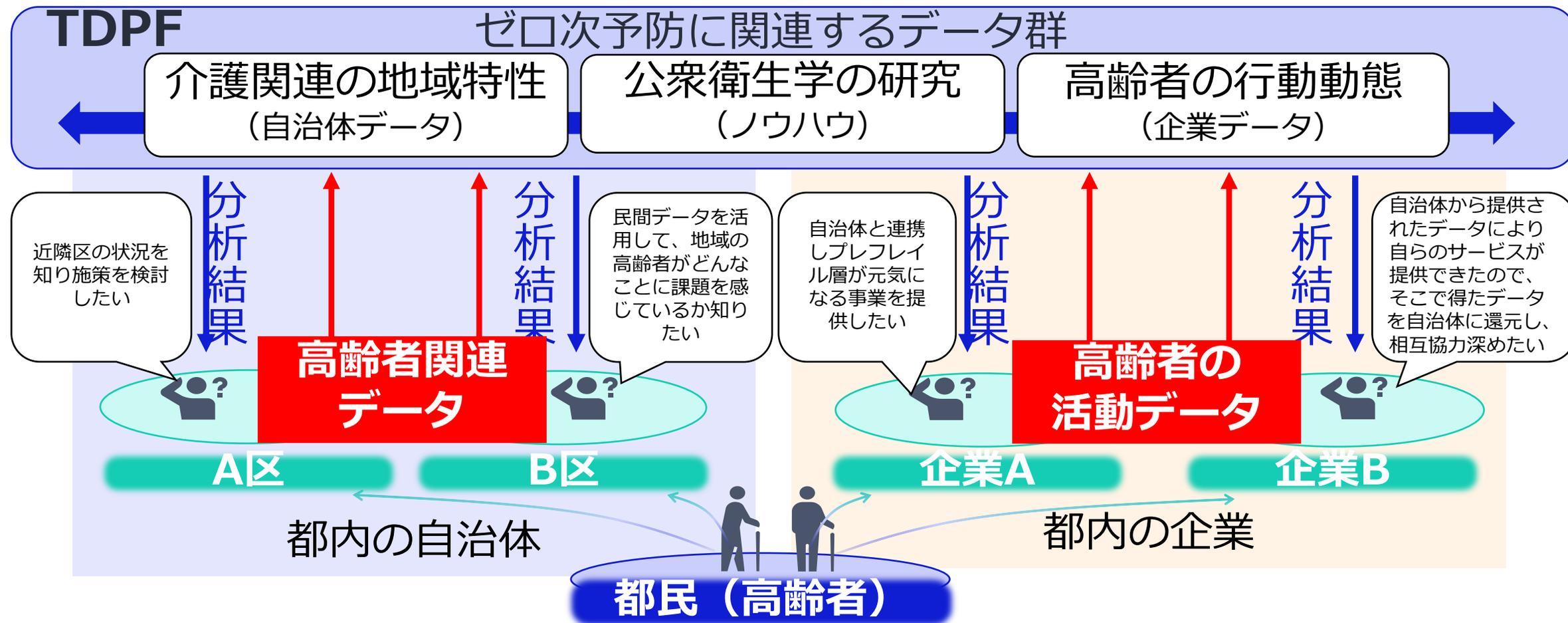
課題と解決の方向性

介護分野は、独居の高齢者も増加しており孤立する高齢者を支援することが必要
公的と民間サービスの連携が不十分で、安価な公的サービスへの依存が高い傾向

国の 課題・取組	増え続ける介護保険の総費用が、国の財政を圧迫、 さらに加入者負担も増加
都の課題	介護保険費の12.5%は都が負担しており、 増え続ける費用が都の財政を圧迫
都内自治体 の課題	職員の経験や勘に頼ることも多く、 客観的なデータから計画立案・施策推進を行うことが困難
課題解決の 方向性	高齢者ゼロ次予防を推進する地域の支えあい体制づくり

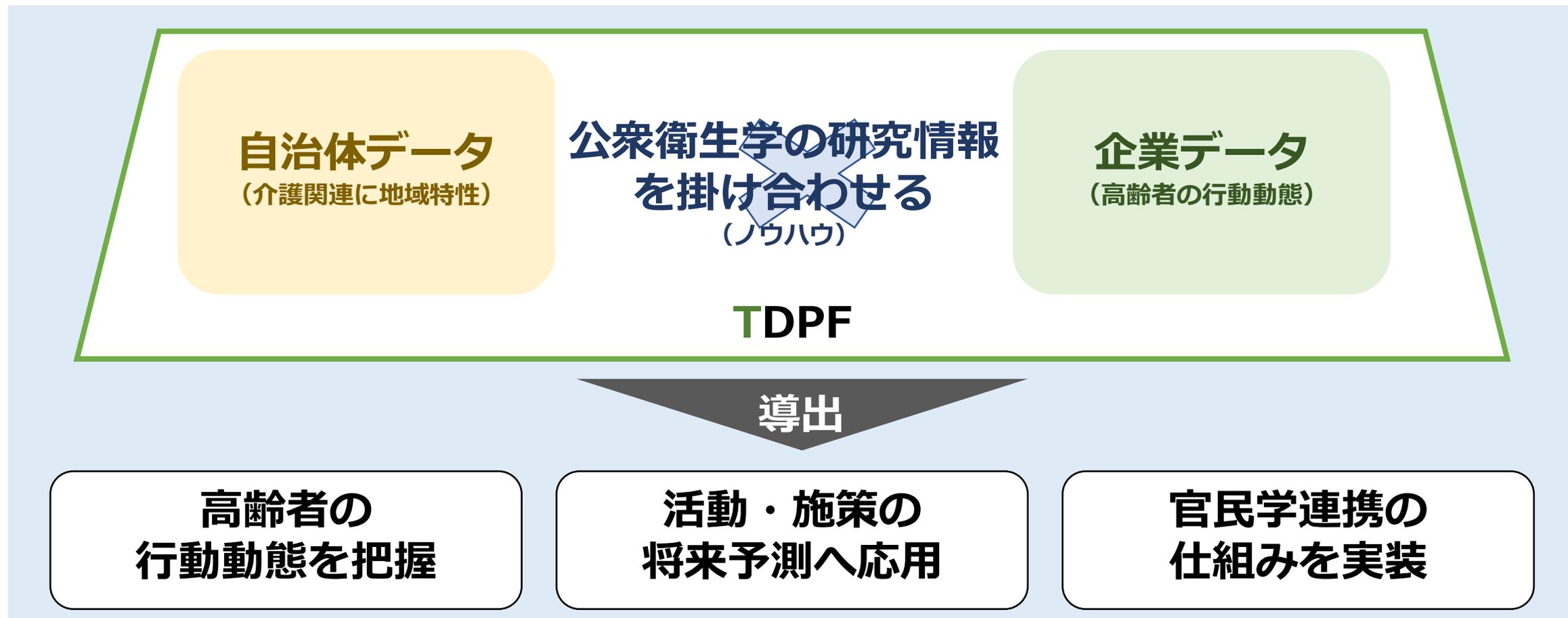
地域の支えあい体制を促進するデータ分析環境

都内全域（TDPF）の自治体データと企業データに、公衆衛生学の研究データ（ゼロ次予防）を掛け合わせ新たな潜在ニーズを分析して地域の支えあい体制を促進する



介護分野のデータ新規性

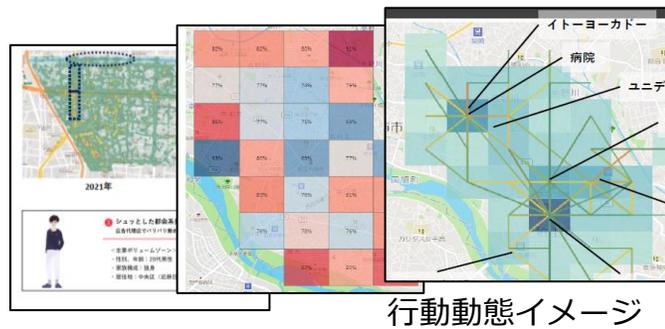
効果検証の困難さや検討する職員の業務負荷が高いことから取り組みが遅れてきた。
公衆衛生学と企業データを組合せて判断材料となる今の地域状況を導出



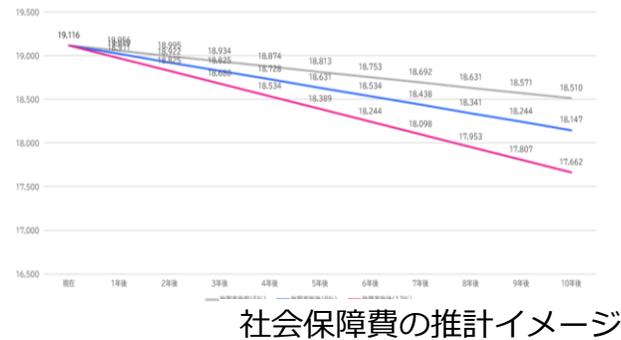
データが支える「ゼロ次予防」

時間やスキルの制約で困難だった地域支援のニーズや課題を明らかにし、官民学連携による仕組みづくりの判断材料を提供

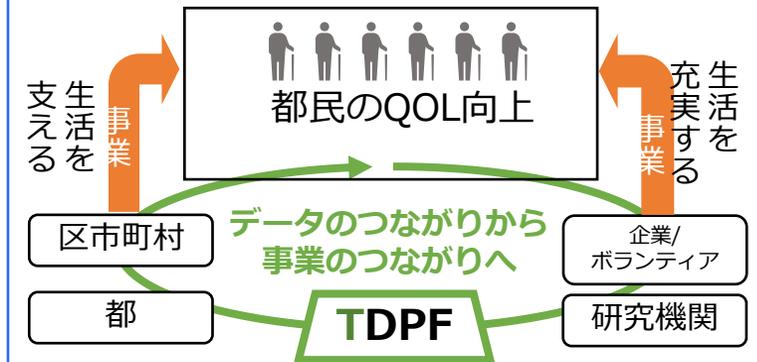
高齢者の 高齢者の行動動態



活動・施策の 将来予測への応用



官民学連携の 仕組みを実装



今年度のプロジェクトの内容

公衆衛生学の研究機関による研究ノウハウと民間企業の行動動態データを活用し、高齢者ゼロ次予防を推進する地域の支え合い体制の実効性検証を行う

目標 1 : 官民のデータ活用によるエビデンスや地域特性に基づく効率的かつ効果的な施策・活動

取組① : 高齢者向け施策の効果測定と改善 (短期)

地域の高齢者がどんなことに課題を感じているか知りたい

高齢者の
特徴・傾向

この地区の高齢者は、徒歩でスーパーAに行くことが多い。スーパーAに協力してもらい健康試食会 & 栄養講座を企画しよう



自治体担当 (現場)



自治体担当 (現場)

取組② : データ分析、区の中長期計画を高度化 (中長期)

圏域毎の高齢者健康施策の成果を参考に、地域の高齢者の健康維持を図りたい

地域の
特徴・傾向

圏域Aで実施されている『高齢者向けウォーキングイベント』の参加率や健康指標の改善データをもとに、地域住民の交流と運動習慣の定着を全域に促進しよう



自治体担当 (企画)



自治体担当 (企画)

PDCA

目標 2 : 介護予防へ企業やボランティア参入を促進させ、高齢者の健康増進につなげ地域の支え合い体制を構築

取組③ : 地域の民間介護関連サービスの参入機会を創出・活性化

高齢者の健康意識は高まってきているものの、継続が難しい。地域で多様なサービスを充実したい

自治体と地域のゼロ次予防を浸透させ新たな市場を創出したい



自治体担当

自治体と
民間の
マッチング



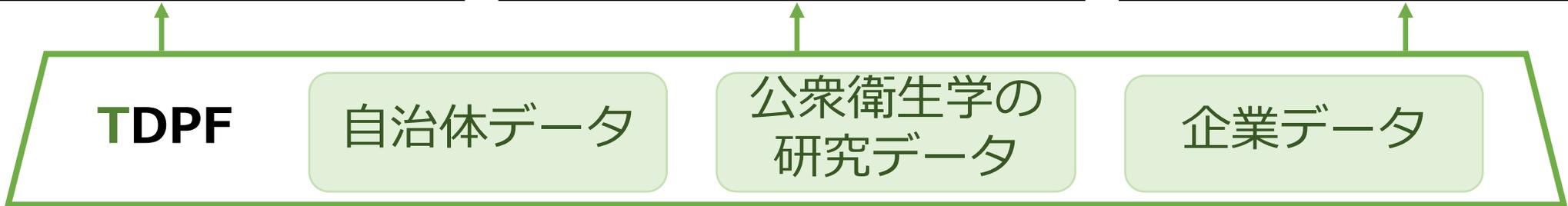
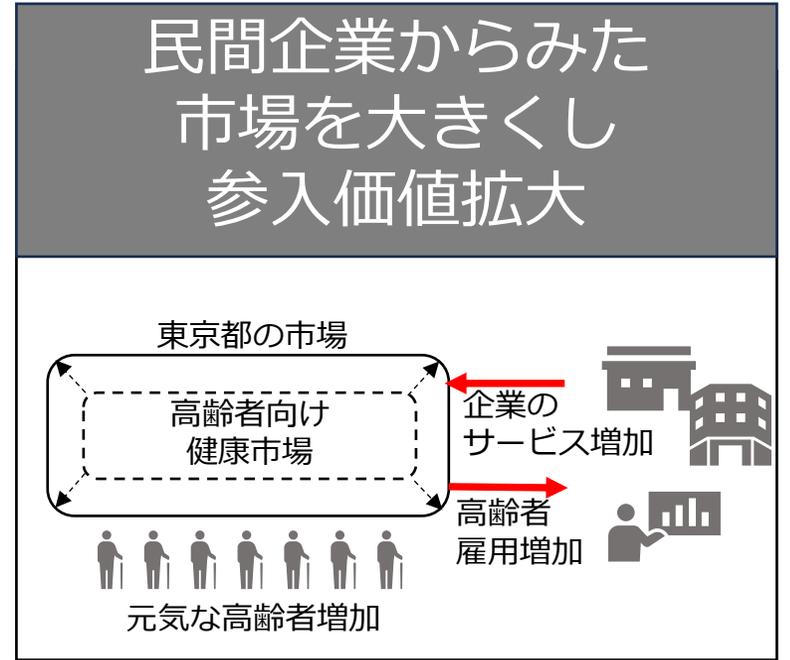
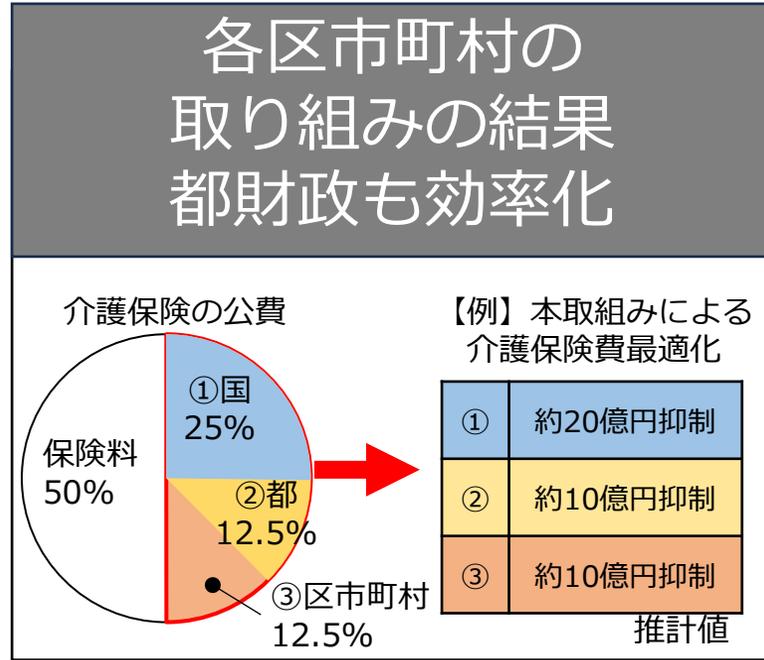
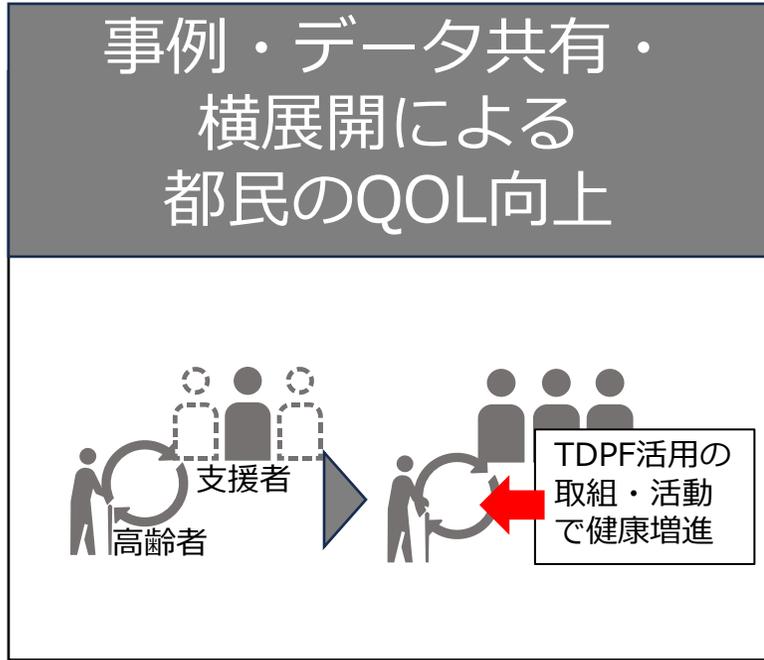
企業担当

分析例 : 自治体×民間の連携領域 (地域最適化)

- ・自治体活動の充足不足な介護関連サービス領域
- ・民間介護関連サービスの新規参入障壁

プロジェクトを推進することによる効果

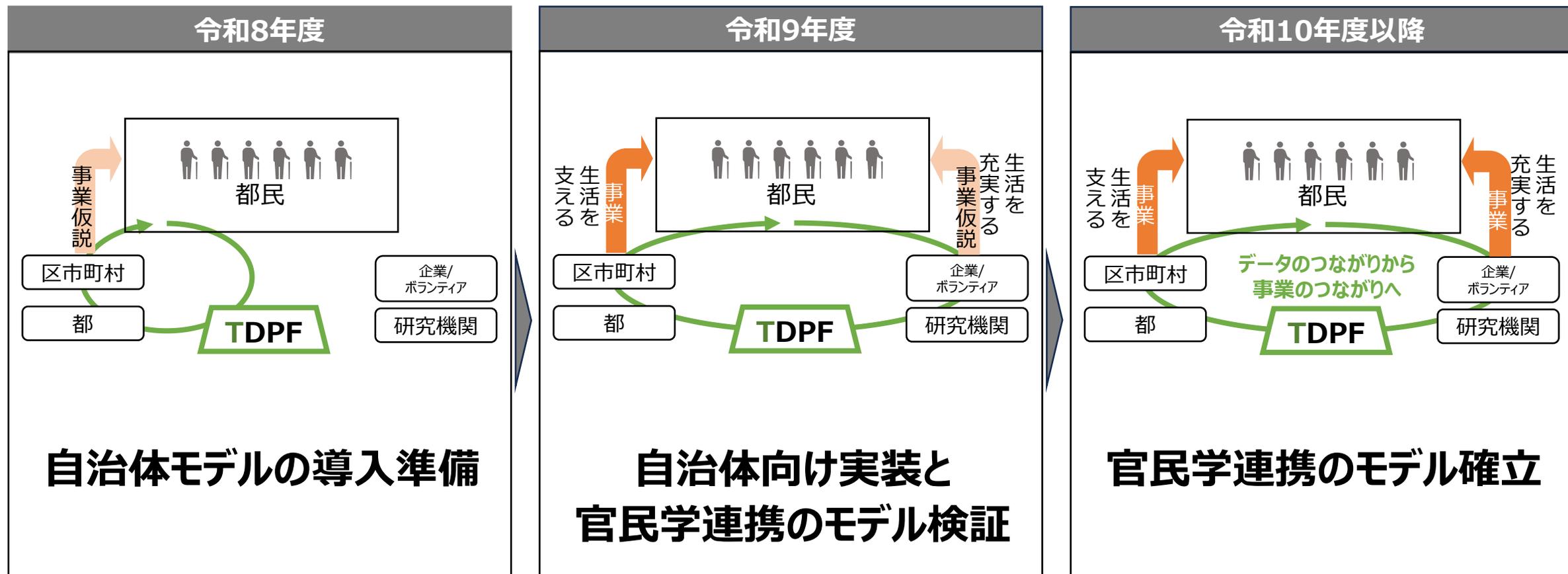
都全域で取り組むことで、介護事業の水準底上げと介護保険の財政改善を確立。高齢者の健康意識向上から健康市場拡大。都全体の発展につながる好循環事業を創出



事業計画

令和9年度までに、区市町村が自治体モデルの導入準備から実装へと事業を推進
令和10年度に、官民学連携による高齢者向け健康事業モデルを確立し展開

データの流れ
事業の流れ



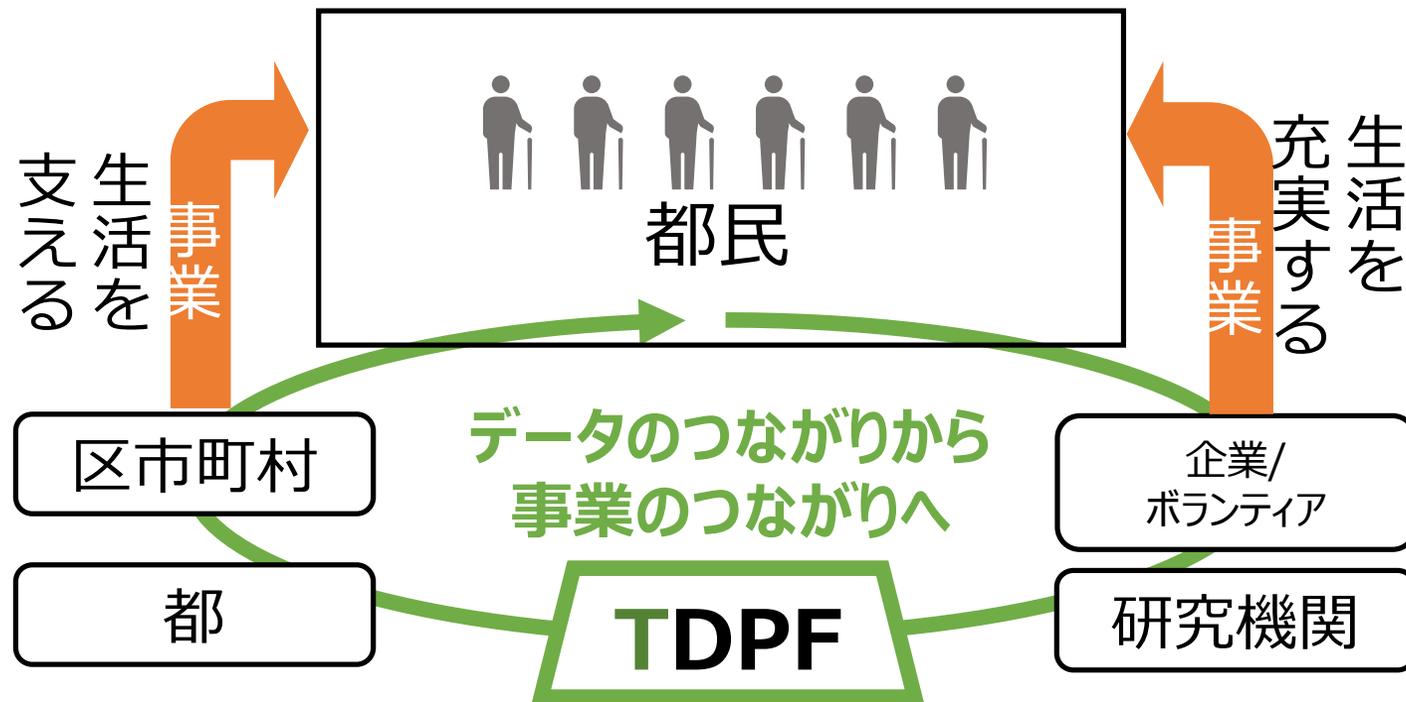
自治体モデルの導入準備

自治体向け実装と
官民学連携のモデル検証

官民学連携のモデル確立

TDPFへデータの還元（事業の将来構想）

自治体からのデータ入手をきっかけに参画機会を得た民間企業の新たな活動データが、自治体に再び還元されるデータ活用の好循環を創出



官も学も民も、想いはひとつ
TDPFで、東京の未来を共に創りませんか

「ゼロ次予防」でまちを変える、未来をつくる
データので、「高齢者の元気」と「自治体のスマート化」を同時に実現



データ活用で引き出す、 地域の経済活性化&共生推進プロジェクト

一般社団法人港区観光協会 高島 菜月 氏

港区 産業・地域振興支援部 小井土 洋樹 氏

株式会社リクルート 定時 大介 氏

データ活用で引き出す、 地域の経済活性化&共生推進プロジェクト

【実施主体一覧】

- 一般社団法人港区観光協会
- 港区
- 日鉄興和不動産株式会社
- 品川プリンスホテル
- マクセル アクアパーク品川
- 株式会社ジール
- 東日本旅客鉄道株式会社
- 株式会社リクルート
- 株式会社ブログウォッチャー

順不同

プロジェクトの目的・背景

目的

- ① 既存来訪者や住民の繁閑時間帯や人流可視化による消費機会の創出
- ② 駅や路線を境として起きがちなエリア分断を越えた、地域に対する愛着心の向上
- ③ 都市型共存エリアにおける横展開可能なデータ活用モデルの創出



背景

- 在勤者や宿泊客など、来訪者を対象とした経済効果に繋がる施策は、個別単体での取り組みに留まっており、エリアを面で捉えたデータ活用や施策は実施されておらず、潜在的な消費力を活かせていない。
- 駅・路線を境としたエリアの分断により、住民や事業者間の交流機会を妨げる事で、地域全体の活性化や経済発展の機会が損なわれている可能性がある。

プロジェクト概要

STEP 1

人流データ×駅利用者データ×周辺施設データなどのデータの掛け合わせにより在勤者・宿泊者・住民の現状を可視化

STEP 2

データ分析による課題設定と打ち手の検討、施策の実行

STEP 3

データに基づく施策の検証

STEP 4

都内類似エリアにおける横展開に向けたデータ活用手法の構築



公共性【都民のQoL向上への貢献】

■ 東京都の社会課題・打ち手・QoL向上の全体像

GOAL

既存来訪者と住民の潜在消費を拡大させる事で、
経済活性化と共生促進を両立させるデータ活用モデルの構築

東京都の 社会課題

成長と成熟が両立する「世界で一番の都市・東京」の実現に向けて、
地域の分断是正や交流活性化による共生社会の構築が求められている。

対象 エリアの 現状

在勤者・宿泊客それぞれの人流が東西で偏りがあり、ピークの時間帯もずれている。

住民・地域事業者に東西の往来の動きはあまり起きておらず、駅・路線で分断されている状態が予想される。

打ち手

在勤者・宿泊客・住民等のデータ活用により、新たな来訪者を増やさずに
経済活性化&共生促進を図る施策を実施し、他地域への横展開も見据える。

公共性【都民のQoL向上への貢献】

都民の QoL 向上

住民
としての都民

来訪者増加を伴わないエリア価値向上

▼
日常生活における心的ストレスが発生することなく、
新たな地域の魅力発見による満足度の向上。

在勤者
としての都民

勤務地域の魅力を認知・体験する機会の提供

▼
勤務地満足度の向上による労働・勤務に対するウェル
ネスの向上

地域事業者
としての都民

既存来訪者の認知・利用機会の提供

▼
エリア内での消費促進・繁閑の平準化による労働生産
性の向上・雇用の安定化

適合性

品川駅を中心とした範囲で、東西にある「在勤者」「宿泊者」「住民」の主要拠点を対象とする

JR品川駅



西側（宿泊施設ならびに居住年数の長い住民の多いエリア）

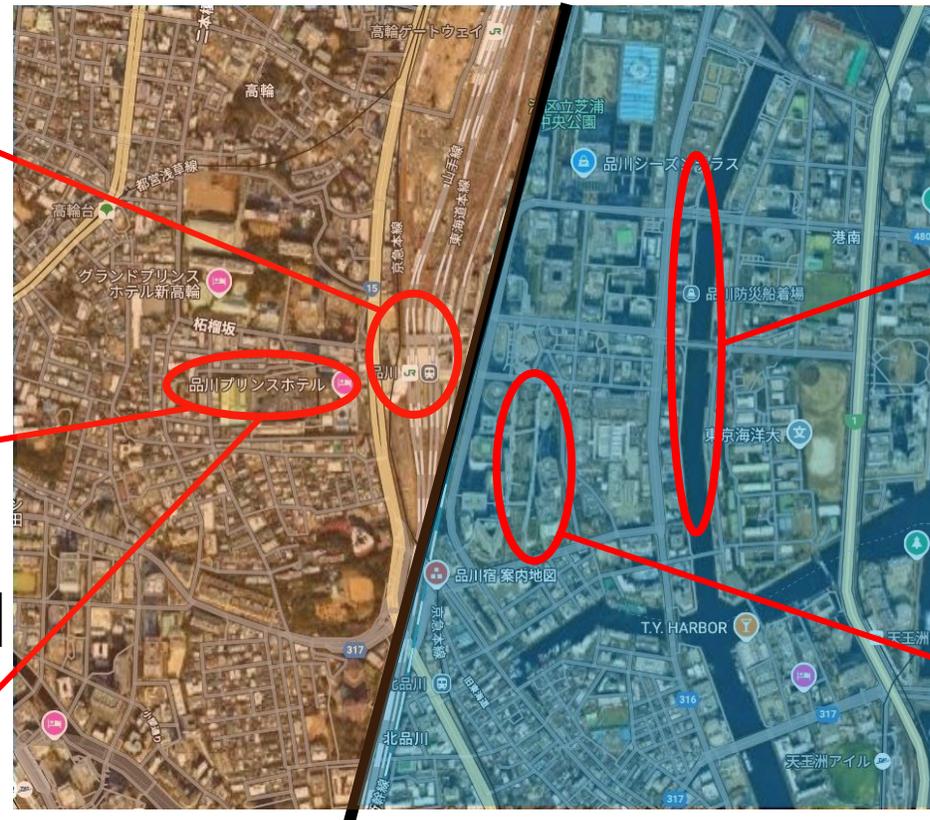
水辺エリア



品川プリンスホテル



Prince Hotel
Shinagawa



品川インターシティ

マクセル アクアパーク品川



東側（オフィスならびに居住年数の浅い住民の多いエリア）

適合性【複数データの掛け合わせ】

在勤者・宿泊客・住民それぞれにおける対象エリア内の関連データを可視化・分析。各対象其々と親和性の高い地域事業者と連携し、動機づけになる最適なコンテンツやプラン開発および、プロモーションを実施する。

データ種別×ターゲット種別でそれぞれ分析を行う

ターゲット軸

在勤者

宿泊者

住民



データ軸

人流データ

属性データ

地域事業者データ

適合性【複数データの掛け合わせ】

■データに基づくPDCAサイクル（イメージ）

P

- ・データ種別×ターゲット種別での分析を行い、現状把握

D

- ・其々の来訪目的別のターゲットと親和性の高い事業者と連携し、動機づけになる最適なコンテンツやプラン開発および、プロモーションを実施する

C

- ・プロモーションの効果を各ターゲットごとに振り返る

A

- ・本施策をテンプレート化し、本取組を次年度以降の継続に繋げる事に加え、同様の課題を抱える地域に横展開できる状態とする

適合性【複数データの掛け合わせ】

コンテンツやプラン開発のイメージ

■ 在勤者向けアプローチ例



早朝・18時以降の
娯楽施設等での
在勤者向け優待プラン

■ 宿泊者向けアプローチ例



港南の運河を活用した
宿泊者限定の
クルージングプラン

■ 住民向けアプローチ例



周辺施設において
日時や内容を限定した
住民向け特別優待プラン

適合性【複数データの掛け合わせ】

■プロモーションイメージ

プロモーションにおいても、在勤者・宿泊客・住民それぞれの対象ごとに、有効と考えられる展開を行う。

在勤者向け

- 在勤者用アプリやオフィスビル各棟内での告知
- 在勤者関連データを活用したオンラインプロモーション など

宿泊者向け

- ホテルHPや館内案内等を活用した告知
- 宿泊者関連データを活用したオンラインプロモーション など

住民向け

- 港区報など、住民と直接接点のある媒体を活用した告知
- 住民関連データを活用したオンラインプロモーション など

オンライン予約サイトを通じてプラン販売・実績管理を行う事で、
利用実績データを蓄積し、振り返りを行える体制を構築する。

令和8年度以降の取組イメージ

<港区内での展開について>

- 官民ともに同エリアで本施策がより良いモデルへと進化できるよう改善を継続する
- データや情報に関して官民で継続的に有効活用出来る様、体制構築を図る
- 区内他エリアでも、其々の地域の特徴を活かした同様の施策展開の検討を行う

<東京都内（港区以外）での展開について>

- 類似の課題を抱える東京都内の行政区（主要駅）において、本プロジェクトの成果が有効活用できるケースが無いか、情報交換やデータ提供を実施する

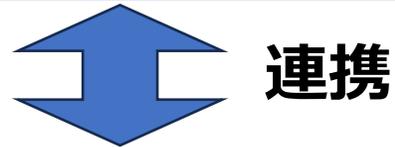
対象エリア例：新宿駅（新宿区）、秋葉原駅、東京駅（千代田区）、
渋谷駅・代々木駅（渋谷区）、池袋駅（豊島区）・・・など

実現性

■プロジェクト実施体制

実施主体

一般社団法人港区観光協会



データ・ソリューション提供

港区

東日本旅客鉄道株式会社

株式会社リクルート

株式会社ブログウォッチャー

地域事業者

日鉄興和不動産株式会社

品川プリンスホテル

株式会社ジール

マクセル アクアパーク品川

周知

利用

利用者

在勤者

宿泊者

住民

還元性【TDPFデータの還元】

分析

対象者関連データ
×
人流関連データ
×
施設関連データ
など
(統計データ)

施策検討

左記をベースに
レポート作成
↓
レポートを軸に
施策を検討



施策実行

コンテンツ造成
プラン開発
コンテンツ・プラン
販売推進
各対象者向け
情報発信 など

検証

各種取組結果や
プロモーション
結果を集約
レポートを作成



提供還元

TDPF

ポイント

- ①ターゲット種別ごとのした人の動きや、それに対する具体的な打ち手案をレポートとして展開
- ②「検討」と「検証」の段階をセットで還元することにより、データ利活用のユースケースを解像度高く把握可能
- ③複数属性を跨いだ施策は勿論、特定属性を切り出した事業展開にも活用できる可能性有

「成長」と「成熟」が両立した「世界で一番の都市・東京」

訪れるたびに新しい体験や発見がある
東京発の洗練された価値が世界中の人々を刺激し、心を潤す

本プロジェクトではデータ活用を通して、
多様な魅力が息づき、常に進化を続ける東京の潜在能力を発揮し、
経済の活性化と共生促進を両立することで、
東京を「世界が憧れる魅力あふれる都市」へと、
さらに進化させていくことを目指します。

3. 東京都からのお知らせ

東京都デジタルサービス局

木川 幹雄

清水 紘司

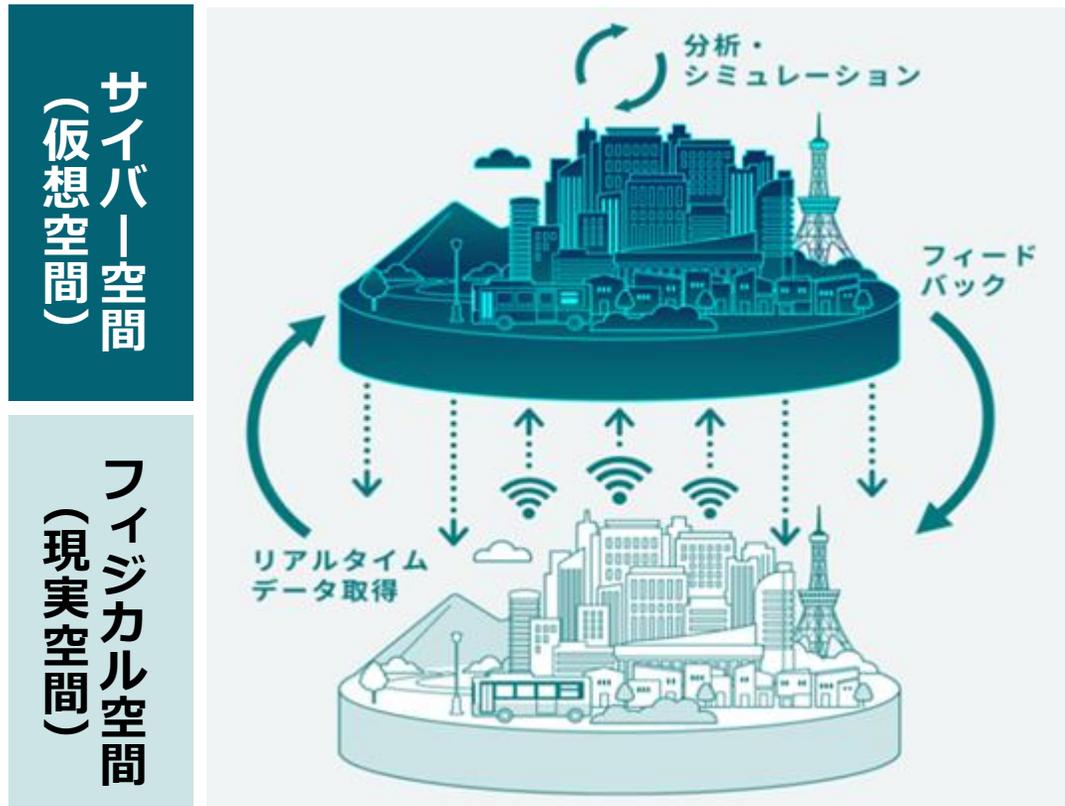


東京都デジタルツイン実現プロジェクト

デジタルツインとは

- **フィジカル空間をサイバー空間に再現し、「双子（ツイン）」を構築・活用**
- **スケールの異なるデジタルツインが存在**

デジタルツインの概念



デジタルツインのスケール

狭域・詳細

デジタルツインのスケール

広範囲

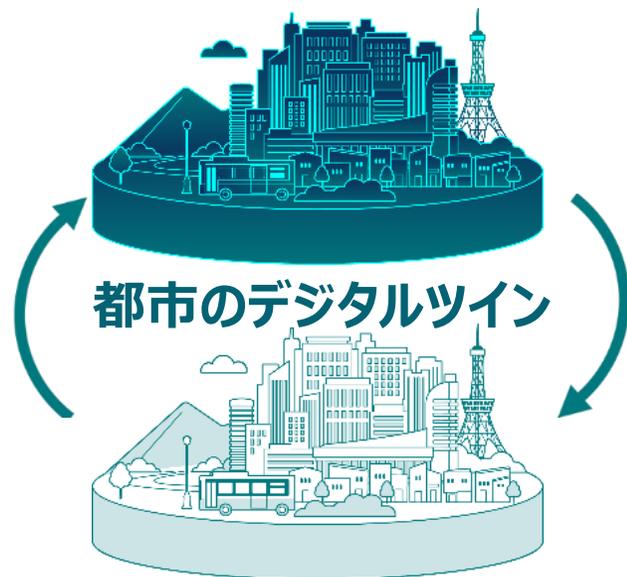
製造業のデジタルツイン	資材調達・製品設計・生産ライン・工場全体等 (自動車、航空エンジン等)
建設業のデジタルツイン	高層ビル・構造物全体、重機走行ルート等
エリアのデジタルツイン	特定エリア全体 (街区、スマートシティ、空港、港湾等)
都市のデジタルツイン	都市全体

東京都が都市のデジタルツインに取り組む意義

都の抱える様々な都市課題解決を目的として取組を実施

東京都が
デジタルツインに
取り組む目的

デジタルツインを活用した都市課題解決による
都政のQOS・都民のQOL向上



都政への
活用



都政のQOS向上

都政の高度化
による効果



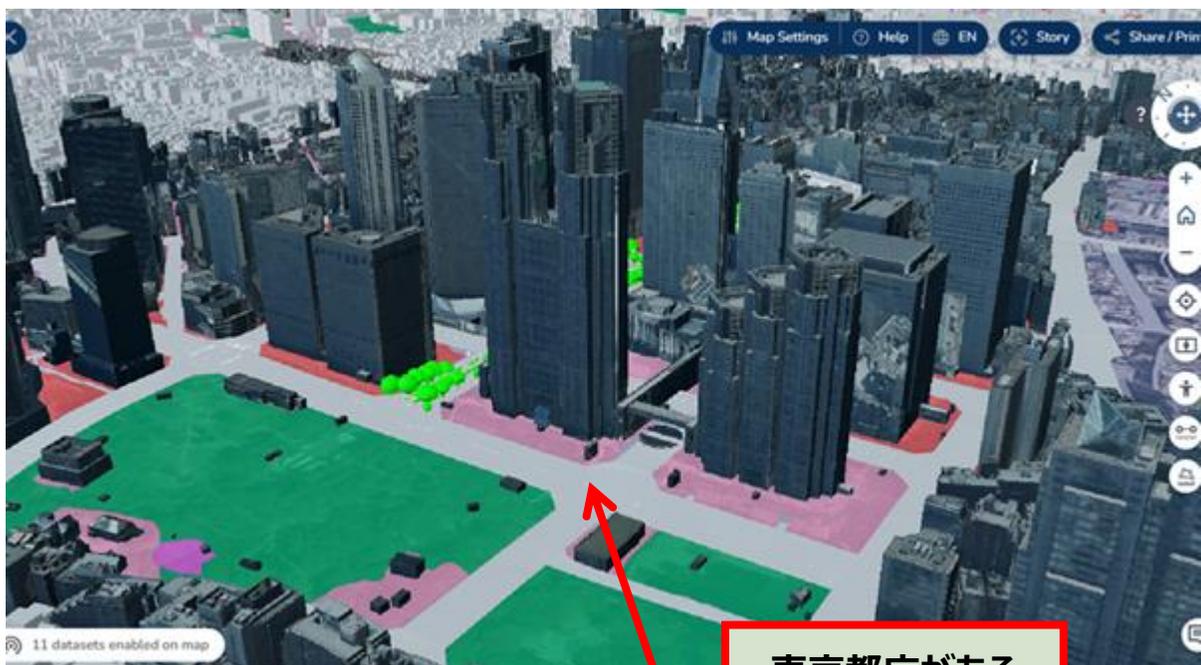
都民のQOL向上

東京都デジタルツイン3Dビューア 掲載データ紹介（1）

3Dビューアには、都市のさまざまな状況を把握するための多様なデータを掲載

異なる種類のデータを重ねて表示することで、都市の状況を多角的に把握することが可能

3D デジタルマップ



東京都庁がある
西新宿エリア

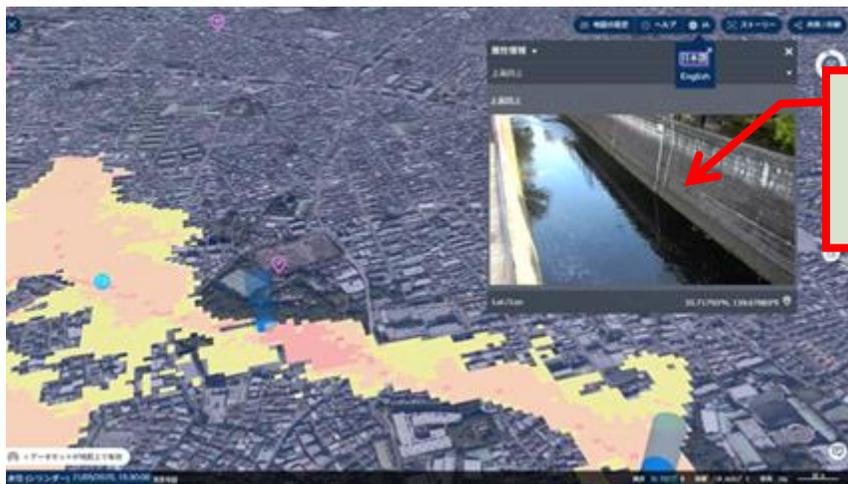
点群データ



東京都庁がある
西新宿エリア

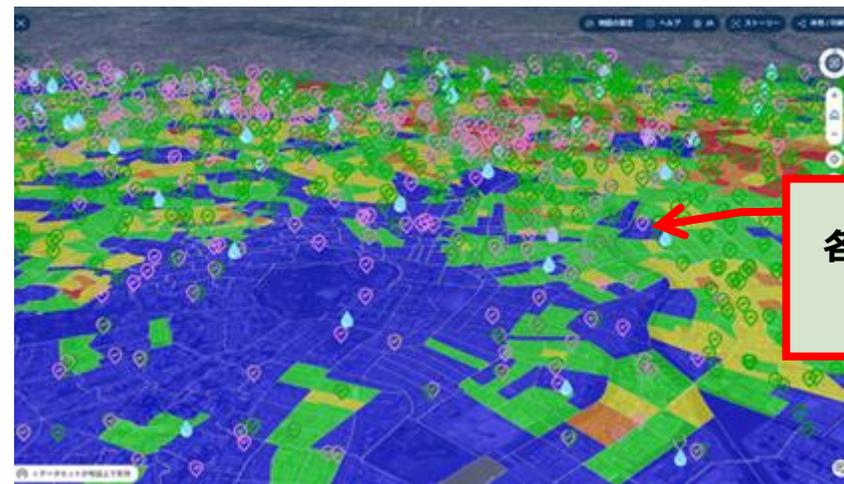
東京都デジタルツイン3Dビューア 掲載データ紹介 (2)

リアルタイムデータ



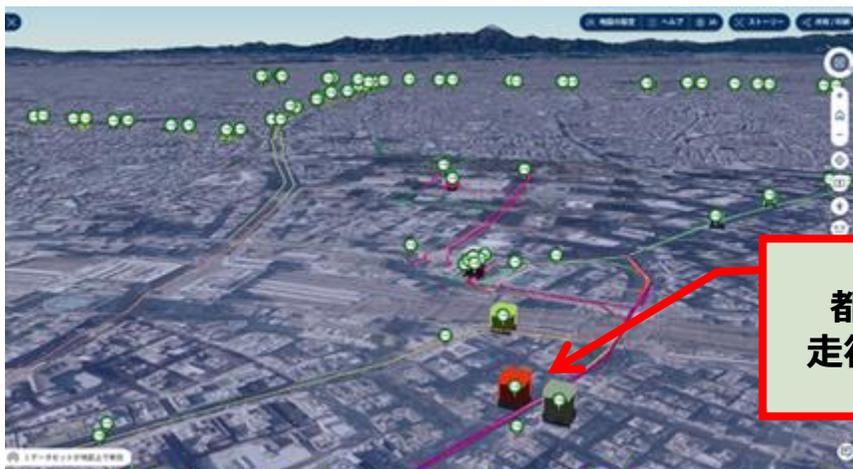
河川監視
カメラ

防災情報



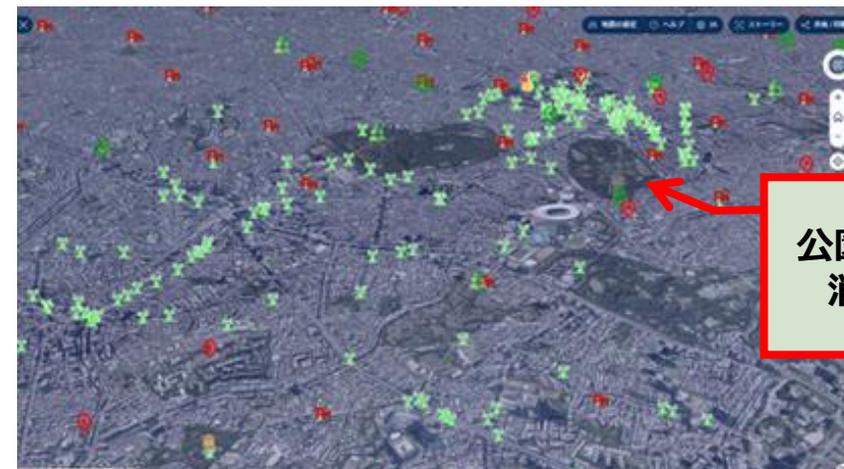
各種ハザード
マップ

交通関連データ



都営バス
走行状況等

様々な施設情報



公園、警察署、
消防署、等

東京都デジタルツイン3Dビューア 掲載データ紹介 (3)

【大手町・丸の内・有楽町エリア】

24時間 人流データ

(2021年9月平日)



東京都デジタルツイン3Dビューア 操作例 (1)

【西新宿エリア周辺】

東京都 デジタルツイン 実現プロジェクト

場所・データを検索

データを追加 ローカルデータ

データセット (1) すべて削除 全て折りたたむ

建築物 (新宿区)

データ視点移動 データについて

不透明度: 100 %

高さ (m): 0 から 300

影: なし

クリップ方法の選択

- LOD2テクスチャなし
- LOD2テクスチャあり
- LOD1

1 データセットが地図上で有効

地図の設定 ヘルプ JA ストーリー 共有 / 印刷

緯度 35.69037° N 経度 139.68759° E 標高 66±105m 50 m

terria CESIUM ion サイトポリシー | 背景地図

東京都デジタルツイン3Dビューア 操作例 (2)

被災前点群データ

被災後点群データ

The screenshot displays the Tokyo Digital Twin 3D Viewer interface. The left panel contains the following controls:

- Search for locations
- Explore map data / Upload
- DATA SETS (2) / Remove All / Collapse All
- SPLIT SCREEN MODE** (Active)
- Show Terrain on the: Left, **Both**, Right
- Terrain hides underground features
- 能登西部 3次元点群データ (発災前、RGB)
- IDEAL ZOOM / ABOUT DATA
- Opacity: 100 %
- Left, **Both**, Right
- ポイントサイズ: 中
- 描画モード: 高速 (標準品質)
- Shadows: (toggle)

The main view is a split-screen 3D visualization of a residential area with a pond. The left side shows the 'before' state, and the right side shows the 'after' state. A vertical dashed line separates the two views. The right panel includes navigation and utility icons: Map Settings, Help, EN, Story, Share / Print, Home, Back, Forward, and a chat icon. A status bar at the bottom indicates '2 datasets enabled on map' and provides coordinates: Lat 37.38889° N, Lon 136.89751° E, Elev 16m, with a 30m scale bar.

東京都デジタルツイン3Dビューアの紹介（3）

➤ 3DビューアURL

<https://3dview.tokyo-digitaltwin.metro.tokyo.lg.jp/>

（専用ソフトウェアは不要。ブラウザで誰でも無料で利用可能です）



➤ 掲載データは1,000以上（2025年7月時点） ※今後も随時追加掲載

データセット カテゴリ				
ユースケース・実証成果	地下通路モデル	点群データ	河川	暮らし・生活
建築物モデル	都市設備モデル	ライブカメラ	交通	路線価
道路モデル	植生モデル	国勢調査	環境	サテライトオフィス
橋梁モデル	都市計画決定情報モデル	防災	各種施設情報	地図要素

- （1） 掲題データを活用したサービス等を開発された方、又は開発事例をご存じの方
- （2） 東京都3Dビューアへ公開可能な地理空間データをお持ちの方

ぜひ当方担当へご一報ください

内容やご意向を確認の上、当プロジェクトのサイトや3Dビューアで紹介させていただきます。

“欲しい”と“持ってる”をマッチング！

人流・商流

- ① 買い物支援の需要に関するデータ
(住民属性、需要のある商品、地域内の店舗情報)
- ② 地域毎・業種別の消費総額データ
- ③ 電子マネーの利用率(SuicaやPASMO決済額データ等)
- ④ リアルタイムの人流情報(イベント時など)

観光

- ⑤ 都立公園の属性別来園者数、来園目的、消費行動データ
- ⑥ (観光に必要な)コインロッカーに関する情報

医療・福祉

- ⑦ 病院の混雑状況・薬の在庫状況
- ⑧ 匿名化された健康データ(医療費や健康課題分析等)

気象

- ⑨ 地域特有の詳細な気象情報
(ビル風、豪雨時の水たまりのできやすさ等)

データニーズに対し、提供可能なデータをお持ちの方は、右のQRからご回答ください▶
(オンラインの方はチャットからアクセス)



防災・安全・インフラ

- ⑩ 最新の用途別避難所情報(緯度経度情報、開設状況)
- ⑪ 災害時の支援物資の在庫状況
- ⑫ 道路・歩道などの詳細な交通・人流関連データ
(歩行空間の解析や点検・対応優先度検討等への活用)
- ⑬ (明るい道を案内するための)街灯設置データ
- ⑭ 地下埋設物(上下水道・ガス・通信等)や地下鉄、住宅地図
- ⑮ 町丁目ごとの犯罪発生件数のデータ
- ⑯ ハザードマップ情報
- ⑰ 舗装構成に関する情報

行政・都市計画

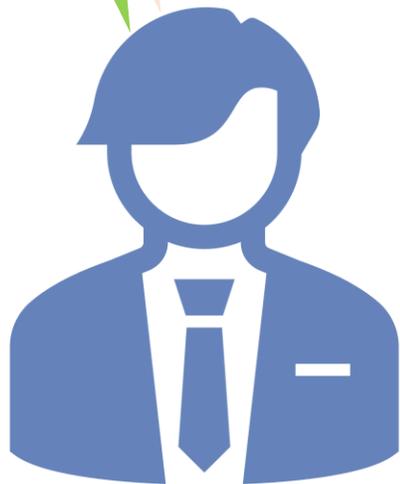
- ⑱ 事業者や工場、店舗等の所有・運営者と位置情報
- ⑲ 都市計画情報(五層率、企業、来訪者誘致、回遊等)

紹介を受けた会員と面談をし、
合同で企画提案書を作成
マッチングに感謝！



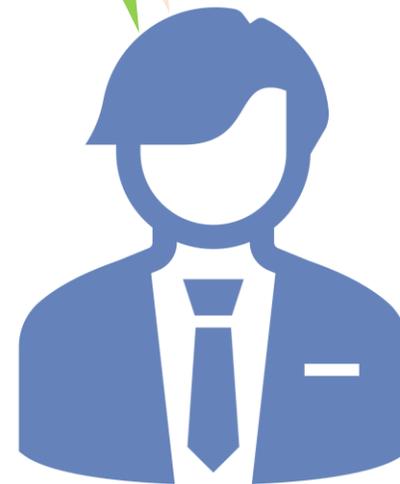
会員Aさん

存じ上げていなかった
会員であったため、
とても参考になった！



会員Bさん

当社のソリューションに
マッチすると思い
コンタクトを取った！



会員Cさん

“つながりの場”をアップデートし継続して提供！